

医師臨床研修プログラム

令和 9 年 度

北海道大学病院

(令和 8 年 4 月発行)

ご挨拶

北海道大学病院
病院長 南須原 康 行

北海道大学病院は、「良質な医療を提供すると共に、優れた医療人を育成し、先進的な医療の開発と提供を通じて社会に貢献します」という理念を掲げています。また、4つの基本方針の一つとして、「人間性豊かで自律した医療人の育成」があります。ところで、研修医の皆さんが初期研修の2年間に期待することは何でしょうか。私（私の時代には初期研修制度はありませんでしたが）の場合は、早く一人前になりたい、少しでも多くの疾患を見たい、技術を磨きたいの一心でした。ほとんどの研修医は同様の思いで研修し、それを与えてくれることを期待しているのだと思います。この点に関して、北海道大学病院の研修システムは、毎年進化を繰り返しており、多様な研修医の希望に対応できる研修プログラムを提供しています。移植医療を含めた最先端の医療はもちろん、関連病院と連携してコモンディジーズも十分研修できます。

加えて、当院の特徴として、4つの基本方針の一つである「自律した医療人の育成」を実践しています。医師には裁量権というものがあります。皆さんも初期研修を修了したあと（法的には研修医にも裁量権はありますが）には、診療における裁量権をもつこととなります。この裁量権というのは、本来自律した医師に与えられるものです。医師が勝手に診療方針を決めて良いということではありません。初期研修の2年間は、皆さんの長い医師人生において最も重要な2年間となります。北海道大学病院では、指導医は皆さんの自律性を育てることを意識して指導します。

また、医療における重要なキーワードの一つはチーム医療です。医療は医師のみでできるものではありません。看護師はもちろんですが、薬剤師、検査技師、コーディネーターなど多くの職種がチームとして診療を行わなければなりません。北海道大学病院の初期研修では、多職種研修を多く取り入れており、医療人として早い時期からチーム医療の重要性を学ぶことができます。

そして、何とんでも、この緑豊かな北海道大学キャンパスは、疲れた研修医の皆さんの心を癒してくれるはずです。これだけの優れた環境は日本中をみても他にないと思います。医師としての貴重な2年間、北海道大学病院で研修してみませんか。

北の大地で未来の自分を切り拓け ～あなたの医師としての第一歩を確かなものに～

北海道大学病院
臨床研修センター長 加藤達哉

医師としての第一歩を確かなものにすることは、今後のキャリアを左右する極めて重要な要素です。研修医時代は、医学の知識を実践に移し、臨床能力を磨く貴重な時間です。この期間に培う診断力、判断力、チーム医療の経験は、将来どの分野に進んでも必ず役立ちます。環境に恵まれた研修の機会を得ることで、自信を持って患者と向き合える医師へと成長できます。だからこそ、早い段階で充実した指導と幅広い症例を経験できる場を選ぶことが、何よりも大切なのです。

北海道大学病院は、豊かな自然に囲まれた広大なキャンパスに位置し、日本屈指の高度医療と大学病院ならではの最先端の研究を支える環境を誇ります。私たちは、次世代の医療を担う人材を育成するため、充実した指導体制と幅広い症例を提供し、総合的な臨床能力を養うことを目指しています。各診療科の専門医が密に連携し、指導医・先輩医師との距離が近いのも本院における研修の特徴です。研修医の先生一人ひとりが主体的に学び、挑戦できる環境が整っていると自負しています。

また、北海道という地域性を活かし、都市部だけでなく地方医療にも触れる機会が多いのも当院の研修プログラムの魅力の一つです。広域にわたる医療圏の中で、地域医療の重要性を実感しながら多様な経験を積むことができます。北海道の大自然の中で学び、仲間と切磋琢磨しながら自らの道を切り拓くことは、医師としての大きな成長につながるはずです。

「ここで学びたい」「ここで成長したい」と思ってもらえる研修環境を提供することが、私たちの使命です。全国の医学生の皆さん、ぜひ北海道大学病院での研修を選び、共に未来の医療を築いていきましょう。皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

目 次

・ご 挨 拶 北海道大学病院長 南須原 康 行

・北の大地で未来の自分を切り拓け～あなたの医師としての第一歩を確かなものに～
北海道大学病院臨床研修センター長
加 藤 達 哉

北海道大学病院の概要	1
北海道大学病院医師臨床研修プログラムの概要	3
各科の概要・指導者	8
募集定員ならびに募集及び採用の方法	42
研修協力病院	44
臨床研修施設	45
修了要件・到達目標	50
北海道大学病院医師臨床研修管理委員会内規	58
北海道大学病院医師臨床研修専門委員会要項	61
北海道大学病院臨床研修センター内規	63
臨床研修センター配置図	66

北海道大学病院の概要

平成 15 年 10 月 1 日、医学部附属病院と歯学部附属病院が統合され、医療法上「北海道大学病院」となりました。

「北海道大学病院」は、北海道大学医学部・歯学部附属の教育・研究施設として、医科・歯科の高度・良質な統合的医療に基づく全人的医療の提供ならびに全人教育を実践する道内唯一の医療施設として、以下の基本理念に基づき、その目標を実現するため、環境の整備と体制の確立に努めます。

1. 北海道大学病院の理念と目標

① 理念

北海道大学病院は、良質な医療を提供すると共に、優れた医療人を育成し、先進的な医療の開発と提供を通じて社会に貢献します。

② 目標

- ・患者本位で安心・安全な医療の提供
- ・人間性豊かで自律した医療人の育成
- ・先進的かつ高度な医療の開発と提供
- ・未来を見据えた地域医療・地域社会への貢献

2. 病床数及び診療状況（令和 6 年度実績）

診療科	病床数	診療状況（令和 6 年度実績）	
		外来患者数	入院患者数
内科Ⅰ（呼吸器内科）	48 床	20,232 名	14,827 名
内科Ⅱ（糖尿病・内分泌内科 ／リウマチ・腎臓内科）	49	58,356	13,959
消化器内科	48	40,412	16,962
循環器内科	35	21,133	12,653
血液内科	40	15,488	12,533
腫瘍内科	21	6,488	6,378
消化器外科Ⅰ	47	9,633	12,939
消化器外科Ⅱ	29	5,020	9,943
循環器・呼吸器外科（心臓血管外科／呼吸器外科）	32	5,939	8,979
整形外科	59	27,169	20,689

診 療 科	病床数	診療状況（令和6年度実績）	
		外来患者数	入院患者数
泌尿器科	33	22,003	10,252
麻酔科	2	19,458	15
形成外科	25	7,149	6,823
乳腺外科	6	10,620	4,970
救急科	15	2,027	5,685
脳神経内科	25	14,209	8,623
眼科	35	30,604	12,343
耳鼻咽喉科（耳鼻咽喉科・頭頸部外科）	38	17,112	12,951
皮膚科	23	16,546	6,602
精神科神経科	70	32,625	11,560
脳神経外科	39	9,197	12,592
リハビリテーション科	20	66,790	1,349
産科	42	9,349	15,218
婦人科	32	21,699	7,613
小児科	33	16,905	9,752
放射線治療科	18	23,524	5,092
放射線診断科	1	56,624	245
核医学診療科	9	5,197	1,730
集中治療室（ICU）	11	0	(2,852)
高度治療室（HCU）	5	0	(2,254)
新生児集中治療室（NICU）	9	0	(3,184)
新生児治療回復室（GCU）	(11)	0	(2,341)
母体胎児集中治療室（MFICU）	(3)	0	(1,081)
高度無菌室	6	0	(1,167)
合 計	905	733,934	269,924

1）病床数（ ）内は産科病床数の内数

2）入院患者数（ ）内は各診療科入院患者数の内数

北海道大学病院医師臨床研修プログラムの概要

1. プログラムの名称

- (1) 北海道大学病院医師臨床研修標準プログラム
- (2) 北海道大学病院医師臨床研修実践産婦人科プログラム
- (3) 北海道大学病院医師臨床研修実践小児科プログラム

2. プログラムの目的と特徴

北海道大学病院と地域の臨床研修病院、診療所が病院群を構成して研修医を受け入れることにより、幅広い分野に対応できる知識・技能といった基本的な診療能力だけではなく、医師としての姿勢・態度を涵養し、社会のニーズに応える真のプロフェッショナルな臨床医を育てるプログラムである。

3. 募集定員：34名（標準30名・産婦人科2名・小児科2名）

4. 研修プログラム

1) 研修目標

初期の研修において、全ての研修医が適切な指導体制の下で、効果的に幅広く医師としての必要な診療能力を身につけ、人格を涵養する。

2) 標準プログラム

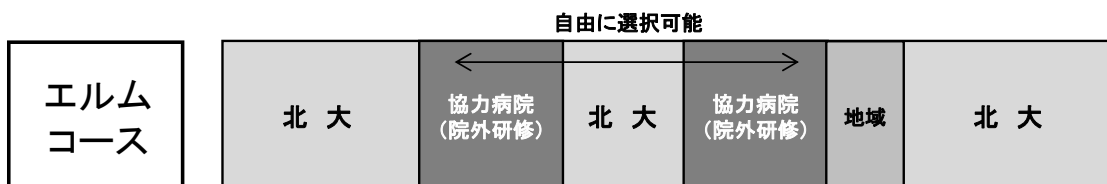
目標を達成するため北海道大学病院では2種類の研修コースを用意した。1年目・2年目ともに大学病院において研修を行う方式（エルムコース）と、学外の協力病院において1年目研修を行い、大学病院において2年目研修を行う方式（たすきコース）である。

・エルムコース（国際的医療人育成プログラムはエルムコースを選択）

1年目（大学病院または協力病院）：必修分野

2年目（大学病院または協力病院）：地域医療4週以上（一般外来を含む）

※2年間で内科24週以上、外科4週以上、小児科4週以上、産婦人科4週以上、精神科4週以上、救急12週以上を研修する。



2年間で 北大病院での研修：52週以上（地域医療研修を含む）
協力病院での研修：52週以内（協力病院の受入れ状況による）

・たすきコース

1年目（臨床研修病院）：必修分野

2年目（大学病院） ：地域医療4週以上（一般外来を含む）

※2年間で内科24週以上、外科4週以上、小児科4週以上、産婦人科4週以上、精神科4週以上、救急12週以上を研修する。

	1年目	2年目		
たすき コース	たすきがけ研修病院	北 大	地域	北 大

1年目 たすきがけ研修病院での研修：52週

2年目 北 大 病院での研修：52週（地域医療研修を含む）

3) 実践産婦小児プログラム（実践産婦人科プログラム、実践小児科プログラム）

1年目（大学病院または協力病院）：産婦人科または小児科選択8週、内科24週、救急12週（麻酔科4週まで可）、外科4週、自由選択4週

2年目（大学病院または協力病院）：産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、地域医療8週（一般外来研修を含む）、産婦人科または小児科12週、自由選択20週

※実践産婦人科プログラムにおいては、産婦人科24週を選択必修する（産婦人科重点）。

※実践小児科プログラムにおいては、小児科24週を選択必修する（小児科重点）。

4) 国際的医療人の育成

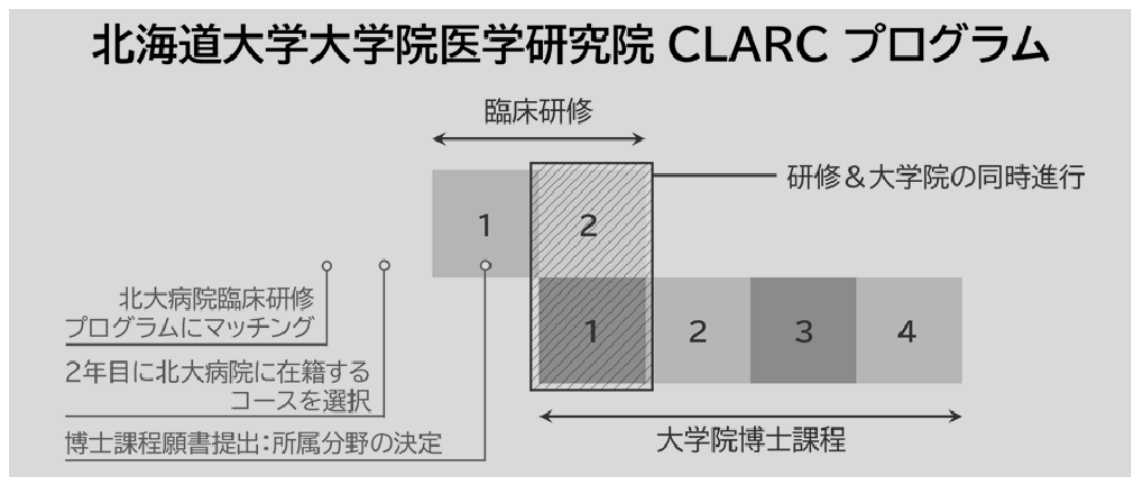
わが国の長期戦略において、「国際化」は重要な位置づけにあります。医療の現場も例外ではなく、医療技術の輸出や海外への人材派遣など「アウトバウンド事業」や、海外からの患者や医療研修者の受け入れなど「インバウンド事業」が着手されていますが、これらを推進する人材の確保が欠かせません。

国際化に適応し能力を発揮できる医療人の育成は、当院が果たすべき重要なミッションの1つと捉え、2018年度より国際的医療人育成プログラムを設置しました。次代を担うPhysician Scientist（研究医）の養成を目指し、早期から国際的な環境の中で経験値を高める機会を提供していきます。

6) CLARC プログラム

CLARC (CLinic And Research Combination) プログラムは臨床研修2年目に大学院に入学し、臨床研修と大学院での学修を並行して行えるプログラムです。

臨床研修を主体とし、平日の17時以降に大学院の講義・研究指導を受けます。



7) 研修スケジュールの例 (標準プログラム)

1年目【必修】											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4W	24W						4W	4W	4W	8W	
外科	内科						小児	精神科 神経科	産婦 人科	救急	
2年目											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4W	8W		36W								
救急 (必修)	地域 (必修)		自由選択								

5. 研修医指導体制

① 研修実施責任者

加 藤 達 哉 (医師臨床研修部門長)

② プログラム管理

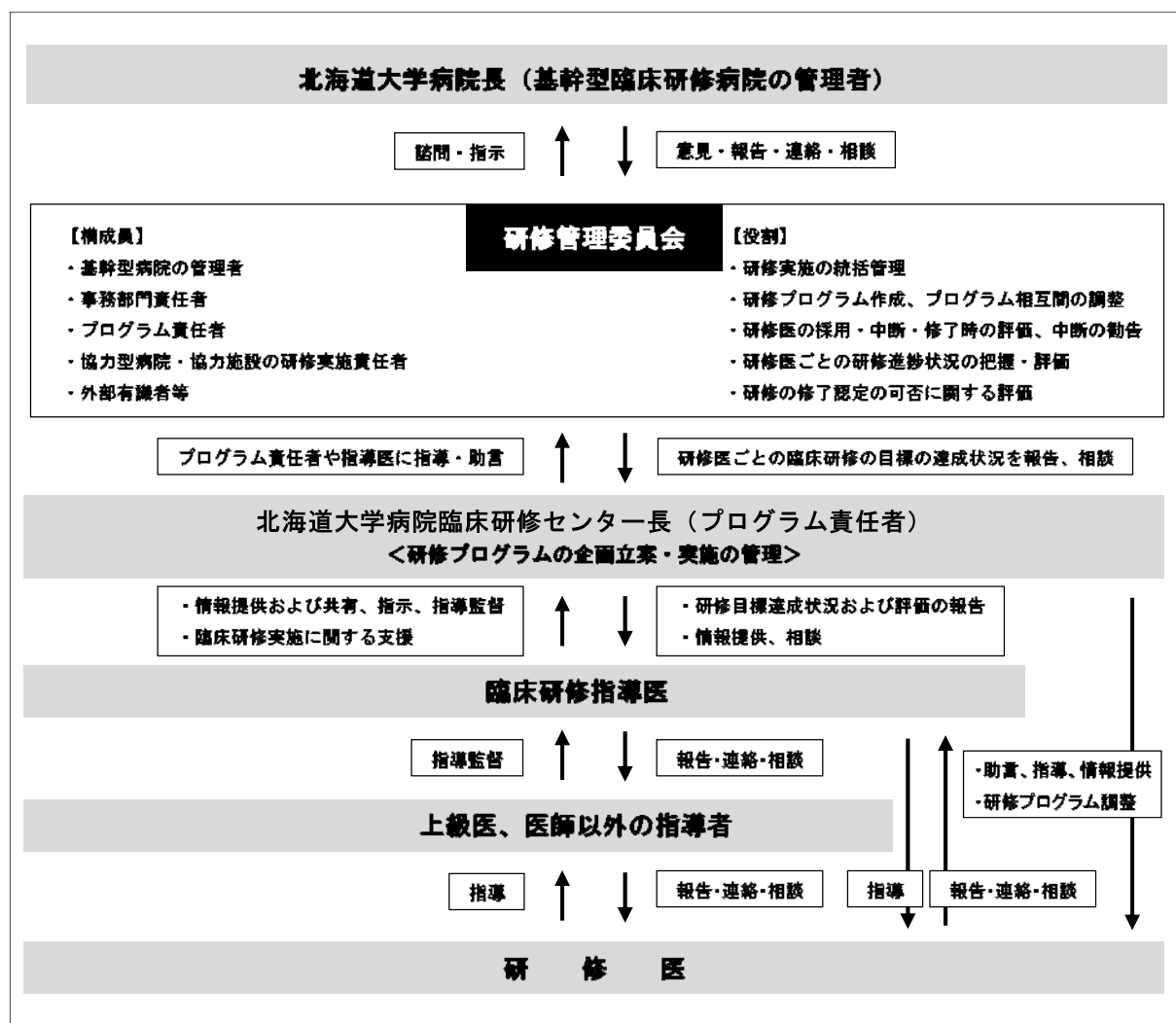
プログラム責任者

加 藤 達 哉 (医師臨床研修部門長)

副プログラム責任者

小野澤 真 弘 (医師臨床研修副部門長)

指導体制の概要



6. 研修医の処遇

1) 北海道大学病院

身 分：契約職員、臨床研修医として採用

手 当：給 与 9,395円／日

臨床研修医手当 5,000円／日

通勤手当あり

寒冷地手当（支給要件を満たす場合）

超過勤務手当あり

夜間業務手当あり（深夜において行われる救急医療又は医療技術の業務に従事した場合に支給、その勤務1回につき20,000円）

住居手当あり（支給要件を満たす場合、上限28,000円）

賞与あり

勤務時間：月曜日～金曜日、8：30～17：00

時間外労働：あり（月平均15時間程度、原則月30時間以内）

宿 日 直：救急科・集中治療部及び産科（周産期）ローテーション期間中に月 4 回程度実施。

同ローテーション期間中は変形労働時間制を適用。

有給休暇：10 日間／年

リフレッシュ休暇：3 日間／年

年末年始休暇：あり

特別休暇：あり（忌引き等）

公的医療保険：社会保険

公的年金：厚生年金

労働保険：労働者災害補償（労災）適用あり

雇用保険あり

健康管理：健康診断 年 1 回

病院内の臨床研修医控室：個別デスクあり。LAN 配線。Wi-Fi 完備。

医師賠償責任保険：病院で加入（全員加入）

保育施設：北大構内にあり。病後児保育室もあり。

宿 舎：あり（借上宿舎（単身用、男女入居可）定員 10 名、女性用宿舎（単身用）定員 15 名）

そ の 他：アルバイト診療禁止（医師法第 16 条の 3）。自動車通勤禁止。

2）協力型臨床研修病院：各病院の処遇による。

呼吸器内科

1. 指 導 医

診療科長： 今野 哲

指導医： 辻野一三、榊原 純、清水薫子、佐藤隆博、池澤靖元、木村孔一、北井秀典
中久保祥、高島雄太、古田 恵、庄司哲明、中村順一

2. 研修内容

非腫瘍、肺循環	非腫瘍・肺循環系の呼吸器疾患（閉塞性肺疾患、びまん性肺疾患、アレルギー性肺疾患、呼吸器感染症、肺高血圧症など）の考え方、鑑別、治療方法を学ぶ。問診、診察、胸部写真・呼吸機能検査・心電図の読み方から、気管支鏡検査、心エコー、右心カテーテル検査、抗生剤やステロイドの使い方、呼吸循環管理まで、内科医としての基本的な考え方を学んでもらう。
腫瘍	肺癌のみならず、胸部の結節性陰影・腫瘤性陰影、胸膜病変、胸水の考え方、鑑別、診断アプローチ方法を学ぶ。気管支鏡、化学療法、分子標的治療の適応と実際の使用方法を学ぶ。また、癌患者の全身管理を通じて内科医としての基本的な考え方を学び、癌患者への接し方、告知の方法も学んでもらう。

	月	火	水	木	金
午前		8:30- 肺循環カンファ 10:00- 気管支鏡	総回診 11:30- 医局会		10:00- 気管支鏡
午後	16:00- 非腫瘍・肺癌 G カンファ 17:30- 病理カンファ	14:00- 透視下気管支鏡、心カテ 17:00- 放射線治療カンファ 17:30- 外科カンファ	14:00- 透視下気管支鏡		16:00- 非腫瘍カンファ

リウマチ・腎臓内科

1. 指導医

診療科長： 今野 哲

指導医： 中沢大悟、河野通仁、中村浩之、久田 諒、楠加奈子

2. 研修内容

膠原病	自己免疫疾患の診断と治療・発熱性疾患の鑑別・腰椎穿刺・骨髄穿刺・中心静脈確保・胸腹水穿刺
腎臓	腎疾患の診断と治療・電解質の管理・透析・中心静脈確保・胸腹水穿刺

	月	火	水	木	金
午前	総回診(糖尿病・内分泌内科と合同)	回診・病棟	回診・病棟	回診・病棟	回診・病棟
午後	カンファレンス(不定期で関節エコーカンファレンス)	医局会(レジデントレポート、研究発表)	病棟	病棟	病棟
備考	カンファレンスの内容・曜日などは変更となることがあります。随時外来見学があります。				

糖尿病・内分泌内科

1. 指 導 医

診療科長： 中村昭伸

指導医： 亀田 啓、大森一乃

2. 研修内容

糖尿病の専門的管理と患者教育・他科入院中患者の血糖マネジメント、内分泌疾患の鑑別と負荷試験を含む診断と治療

	月	火	水	木	金
午前	8:30- モーニングカンファレンス、内分泌検査、病棟業務 11:00- 総回診	8:30- モーニングカンファレンス、内分泌検査、病棟業務	8:30- モーニングカンファレンス、内分泌検査、病棟業務	8:30- モーニングカンファレンス、内分泌検査、病棟業務	8:30- モーニングカンファレンス、内分泌検査、病棟業務
午後	病棟業務 他科血糖管理 サマリー作成	病棟業務 他科血糖管理 サマリー作成	病棟業務 他科血糖管理 16:00- カンファレンス	病棟業務 他科血糖管理 サマリー作成	病棟業務 他科血糖管理 サマリー作成
備考	カンファレンスの内容・曜日などは変更となることがあります。随時外来見学があります。				

消化器内科

1. 指導医

診療科長： 坂本直哉

指導医： 小野尚子、栗谷将城、結城敏志、須田剛生、荘 拓也、山本桂子、原田一顕、中井正人、大野正芳、北潟谷隆、川久保和道、大原正嗣、杉浦 諒、井上雅貴、小田切信介

2. 研修内容

肝臓	<ul style="list-style-type: none"> ●肝炎ウイルス治療に対する抗ウイルス治療を理解し、習得する。 ●肝癌に対する各種治療を理解し、習得する。 ●食道静脈瘤治療に対する治療を理解し、習得する。 [グループ研修] 月:17 時～外科・放射線科合同カンファレンス、木:16 時～グループカンファレンス、グループ回診
内視鏡	<ul style="list-style-type: none"> ●模型を使い、消化管内視鏡手技と撮像法の基本を理解し、習得する。 ●上記をマスターできたら、実際に患者(意識下鎮静患者)に対して上部消化管内視鏡検査を実践する。 ●内視鏡所見の記載法を習得する。 ●消化管疾患の内視鏡診断、治療の基本、合併症を理解する。 ●消化管疾患の内視鏡治療における入院管理を理解する。 [グループ研修] 月:8 時 15 分～内視鏡画像カンファレンス 木:8 時 30 分～内視鏡画像カンファレンス 18 時～グループカンファレンス、抄読会、病理検討会 月～金:17 時 00 分ごろグループ回診、月～金:午前上部内視鏡検査、午後大腸検査、内視鏡治療
胆膵	<ul style="list-style-type: none"> ●胆膵内視鏡検査・処置を実際に見て、処置の介助をすることで理解を深める。 ●膵胆道疾患において、US、CT、EUS を中心とした画像診断の基本を身につける。 ●膵胆道癌に対する標準的化学療法、支持療法を理解し、習得する。 [グループ研修] 月曜夕方:グループカンファレンス 月～金午前(不定期):超音波内視鏡検査 月～金午後:ERCP および EUS 関連手技 水:19 時～外科内科放射線科合同カンファレンス 月～金:9 時 00 分/17 時 00 分ごろグループ回診
化学療法	<ul style="list-style-type: none"> ●消化器癌に対する標準的化学療法、支持療法、緩和ケアを理解し、習得する。 ●腫瘍関連の諸症状(癌性疼痛など)に対する集学的治療の実践。 ●新薬開発に触れることで薬剤開発の流れや仕組みを理解する。 [グループ研修] 月:18 時～グループカンファレンス 水:18 時 00 分～外科合同カンファレンス(胆膵) 木:9 時～放射線科合同カンファレンス(メール会議)、隔週 16 時 30 分～外科/放射線科合同カンファレンス(消化管)、18 時～グループカンファレンス 月～金:8 時 30 分/17 時 00 分ごろグループ回診、(不定期/午後)CV ポート造設術
炎症性腸疾患	<ul style="list-style-type: none"> ●潰瘍性大腸炎、クローン病を中心に原因不明の難治性腸疾患の基本的な診断方法、治療方法を身につける。 ●画像診断としてエックス線、CT、エコー、バリウム造影、上下部消化管内視鏡検査の読影、補助を行う。 ●疾患のみを診るのではなく、各患者の背景を含めた全人的な医療を実践することで、医師として必要な人間性、人格を養う。

	月	火	水	木	金
午前	病棟業務、内視鏡検査	7 時 30 分:チャートカンファレンス 9 時 30 分:教授回診	病棟業務、内視鏡検査	病棟業務、内視鏡検査	病棟業務、内視鏡検査
午後	内視鏡検査/治療 病棟業務	内視鏡検査/治療 病棟業務 17 時 30 分:医局会	内視鏡検査/治療 病棟業務	内視鏡検査/治療 ラジオ波(RFA) 病棟業務	内視鏡検査/治療 病棟業務
備考	各グループによるスケジュールは上記研修内容を参照				

循環器内科

1. 指導医

診療科長： 安斉俊久

指導医： 永井利幸、神谷 究、天満太郎、竹中 秀、石坂 傑、甲谷太郎

2. 研修内容

通常	指導医のもと担当患者を受け持ち、診断、病態把握のための診察・検査を行い、診断に至るプロセスを学ぶ。 循環器疾患の病態・検査・治療に関する基礎知識の習得を行う。 胸部レントゲンならびに心電図の読影を行う。 心エコー検査を自ら施行し、エコー所見の読影を行う。 心臓カテーテル検査(右心カテーテル検査、冠動脈造影検査)を自ら施行し、検査所見を理解する。
心エコー	心エコー検査を自ら施行し、エコー所見の読影を行う。 経食道心エコーなど特殊検査の所見の読影を行う。 原則、循環器内科(通常グループ)を1か月以上ローテーションする研修医に限る。

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診	症例検討会 教授回診	病棟回診	病棟回診	心臓電気生理検査 カテーテルアブレーション治療
午後	TAVI、MitraClip(手術室) 不整脈カンファレンス	重症心不全カンファレンス VAD カンファレンス 虚血性心疾患カンファレンス	心臓カテーテル検査	心臓カテーテル検査	心エコーカンファレンス
備考	その他:病理カンファレンス、外科症例カンファレンスへの参加。				

血液内科

1. 指 導 医

診療科長： 豊嶋崇徳

指導医： 小野澤真弘、加畑 馨、後藤秀樹、白鳥聡一、松川敏大、荒 隆英、
長谷川祐太

2. 研修内容

上級医のもと主治医として、化学療法・造血幹細胞移植を中心とした血液疾患への治療を行います。食事摂取不良・全身状態不良に対する全身管理が行えます。骨髄穿刺・生検、髄液検査、抗がん剤の髄腔内投与、中心静脈カテーテル挿入などの手技を可能な限り行っていただきます。その他、細胞採取、各種感染症への対応方法、抗生剤やステロイドの使い方、HIV/AIDS の管理・治療、臨床研究、各種血液検査所見の解釈についても学べます。

	月	火	水	木	金
午前	8:30- 病棟回診、病棟診療、各種検査	8:30- 病棟回診、病棟診療、各種検査	8:30- 病棟回診、病棟診療、各種検査	8:30- 病棟回診、病棟診療、各種検査	8:30- 病棟回診、病棟診療、各種検査
午後	病棟診療、各種検査 16:00- 臨床カンファレンス 病棟 Gr カンファレンス	病棟診療、各種検査	病棟診療、各種検査 18:00- リサーチカンファレンス	病棟診療、各種検査 13:30- 教授回診(不定期)	病棟診療、各種検査

腫瘍内科

1. 指導医

診療科長： 木下一郎

指導医： 清水 康、竹内 啓、田口 純

2. 研修内容

肺癌、頭頸部癌、消化器癌、軟部肉腫、神経内分泌腫瘍、乳癌、甲状腺癌、原発不明癌など、臓器横断的に全身の幅広い領域の悪性固形腫瘍の診断、治療(薬物療法や化学放射線療法など)を通して、内科における基本的な臨床能力を身につけます。

	月	火	水	木	金
午前		抄読会	放射線治療 Conf.	乳腺 Conf.	病棟診療
午後	神経内分泌腫瘍 Conf.(月1)	頭頸部癌 Conf.	症例検討会・総回診 がんゲノム EP	消化器癌 Conf.(隔 週) 皮膚腫瘍 Conf.(月1)	リサーチ Conf.
備考	9:00- 病棟ミニカンファ→朝回診。16:30 夕回診。*EP = エキスパートパネル				

消化器外科 I

1. 指 導 医

診療科長： 武富紹信

指導医： 嶋村 剛、柿坂達彦、後藤了一、渡辺正明、吉田 雅、川村典生、市川伸樹、
長津明久、荒 桃子、河原仁守、相山 健、藤好 直、柴田賢吾

2. 研修内容

肝臓外科	術前診断、術前術後検討会でのプレゼン、手術参加、縫合結紮実習、内視鏡縫合結紮実習、術後全身管理をおこないます。患者さんの病態はもちろんのこと、大学病院ならではの基礎疾患をたくさんもったハイリスク患者の術式決定、周術期管理を先輩医師に寄り添って、学びます。また、小児鼠径ヘルニアの手術や、一時的、永久の人工肛門造設術、人工肛門閉鎖術を実際の術者として経験してもらいます。内視鏡手術のトレーナーを用いたスキルアップや、習熟度に応じて、腹腔鏡下大腸切除術を術者として経験してもらいます。
小児外科	
下部消化管外科	

	月	火	水	木	金
午前	回診、外来	回診、手術	回診、外来、手術	回診、手術	回診、外来、手術
午後	教授回診、抄読会、 MM カンファレンス、 術前カンファレンス	手術、回診	手術、検査、回診	手術、回診	手術、回診

診療科長： 平野 聡

指導医： 七戸俊明、村上壮一、浅野賢道、中西喜嗣、田中公貴、松井あや、武内慎太郎、
和田雅孝、和田秀之、パウデル・サシム、高野博信

上部消化管外科	<p>消化器疾患に対する高難度手術や鏡視下手術の理論と実践のすべてを学んでいただきます。特に消化器癌や救急医療では画像診断および手術適応について最新の知見を学ぶことができ、手術では、実際に手術メンバーとして参加し、皮切、縫合を行っていただきます。さらに、周術期管理の実践を通して、知識や検査の実際のみならず、中心静脈カテーテル挿入などの様々な手技を習得していただきます。</p>
胆・膵外科	

	月	火	水	木	金
午前	入院患者カンファレンス、教授回診	回診、検査、外来見学	手術症例カンファレンス、回診、手術	回診、検査、外来見学	術前カンファレンス、回診、手術
午後	検査、リサーチカンファレンス	検査、病棟管理、結紮・縫合訓練(含、腹腔鏡下)	手術、カンサーボード	検査、病棟管理、結紮・縫合訓練(含、腹腔鏡下)	手術

心臓血管外科

1. 指 導 医

診療科長： 若狭 哲

指導医： 新宮康栄、加藤伸康、加藤裕貴、佐藤公治、南田大朗

2. 研修内容

プライマリーケアに必要な外科知識や病態、基本的な手技を心臓血管外科疾患を通して習得する。

	月	火	水	木	金
午前	入院患者カンファ ランス、回診、手術	入院患者カンファ ランス、回診、手術	入院患者カンファ ランス、回診、手術	入院患者カンファ ランス、回診、手術	入院患者カンファ ランス、回診、手術
午後	手術、回診	手術、回診	手術、回診	手術、回診、手術予 定患者カンファラン ス	手術、回診

呼吸器外科

1. 指導医

診療科長： 加藤達哉

指導医： 新垣雅人、藤原 晶、大高和人、椎谷洋彦

2. 研修内容

他の外科系診療科や内科、マイナー系志望の研修医に胸部画像診断、採血や縫合、ドレーン留置・管理、全身管理、手術適応の判断の実際などを学んでもらう。

	月	火	水	木	金
午前	8:30 初日はオリエンテーション 8:30 入院患者カンファレンス 9:00 朝回診 9:30 病棟管理、外来見学 AM 症例発表準備	8:30 入院患者カンファレンス 9:00 朝回診 9:30 病棟管理 外来見学	8:30 入院患者カンファレンス 9:00 朝回診 AM 手術	8:30 入院患者カンファレンス 9:00 朝回診 9:30 病棟管理、外来見学	8:30 入院患者カンファレンス 9:00 朝回診 AM 手術
午後	13:30 呼吸器病理切り出し PM 症例発表準備 15:00 夕回診 15:30 症例カンファレンス、呼吸器外科カンファレンス	16:00 夕回診 17:30 呼吸器キャンサーボード	PM 手術 16:00 夕回診	PM 結紮・縫合訓練（含、胸腔鏡下） 16:00 夕回診	PM 手術 13:30 呼吸器病理切り出し 16:00 夕回診、週末申し送り

整形外科

1. 指導医

診療科長： 岩崎倫政

指導医： 近藤英司、松井雄一郎、小野寺智洋、高橋大介、須藤英毅、角家 健、
山田勝久、清水智弘、門間太輔、遠藤 健、松岡正剛、大西貴士、佐藤 大、
本宮 真、筈場大介

2. 研修内容

上肢・スポーツ	指導医のもと担当患者を受け持ち、診断、病態把握のための診察を行い、診断に至るプロセスを学ぶ。 神経学的所見、筋・腱・関節所見に関する基礎知識の習得を行う。 Xp、CT、MRIなどの画像の読影トレーニングを行う。 神経伝導速度検査の読影とトレーニングを行う。 手術手技を理解し、基礎的な縫合などを習得する。 外来等で実際のスポーツ選手の診察をおこなう。試合に帯同し診察する。
脊椎	指導医のもと担当患者を受け持ち、診断、病態把握のための診察を行い、診断に至るプロセスを学ぶ。 とくに神経症候学に関する基礎知識の習得を行う。 Xp、CT、MRIなどの画像の読影トレーニングを行う。 各病態(変性疾患・腫瘍・外傷・脊髄損傷・靭帯骨化症など)に関するミニレクチャーが充実しており、スモールディスカッションを通じて理解を深める。 手術手技を理解し、基礎的な縫合などを習得する。 担当症例に関しては助手として手術に入る。
下肢・腫瘍	指導医のもと担当患者を受け持ち、診断、病態把握のための診察を行い、診断に至るプロセスを学ぶ。 主に関節所見に関する基礎知識の習得を行う。 四肢の軟部腫瘍(良性悪性)に関する基礎知識を習得する。 Xp、CT、MRIなどの画像の読影トレーニングを行う。 手術手技を理解し、基礎的な縫合・関節鏡操作などを習得する。
股関節	指導医のもと担当患者を受け持ち、診断、病態把握のための診察を行い、診断に至るプロセスを学ぶ。 主に関節所見に関する基礎知識の習得を行う。 Xp、CT、MRIなどの画像の読影トレーニングを行う。 手術手技を理解し、基礎的な縫合などを習得する。

	月	火	水	木	金
午前	8:00 術後検討会 8:30 各グループ回診 9:00 ミニレクチャー 10:00 診察	7:30 脊椎カンファ 7:30 上肢カンファ 9:00 手術	8:00 各グループ回診 9:00 ミニレクチャー 10:00 診察	8:00 研究検討会 9:00 手術	8:00 各グループ回診 9:00 ミニレクチャー
午後	14:00 総回診 14:45 術前検討会 16:00 股関節カンファ	手術	診断・検査 17:00 下肢カンファ	手術	診断・検査
備考	研修期間及び希望によって研修する班を決めています。担当患者を受け持ち、術前診断、術前術後検討会でのプレゼン、手術参加、縫合結紮実習、内視鏡実習をおこないます。 上肢・スポーツ・脊椎・下肢・腫瘍・股関節と幅広い疾患に対して、診断・治療体系の基礎を学びます。指導する医師数や手術件数も多いため、たくさんの研修医の受け入れが可能です。				

泌尿器科

1. 指導医

診療科長： 安部崇重

指導医： 堀田記世彦、松本隆児、千葉博基、今 雅史、広瀬貴行、古御堂純、村西雄貴

2. 研修内容

研修では指導医(専門医)の直接指導のもと、入院/外来患者の問診や創部処置を経験してもらい、一般的な外科処置に加えて腎尿路に関連する泌尿器科独自の手技を学習できる。手術では助手としての参加にとどまらず、尿管ステント留置や前立腺生検、精巣摘除術といった基礎的な泌尿器科手術の執刀術者としての機会も経験できる。さらに、大学病院ならではの専門グループ(腫瘍、移植、神経・女性泌尿器、小児)での研修を通じて、抗癌化学療法や免疫抑制剤の管理、排尿指導やウロギネ的管理、小児の周術期外科的管理など幅広い分野の学習機会を得ることができる。

	月	火	水	木	金
午前	手術	回診 外来研修	手術	回診 外来研修	症例検討会 回診 外来研修
午後	手術	病棟業務	手術	病棟業務:回診 ミニレクチャー	外来患者検討会

麻 酔 科

1. 指 導 医

診療科長： 和田剛志

指導医： 敦賀健吉、斉藤仁志（ICU）、干野晃嗣、藤田憲明、久保康則、糸洲佑介、
三浦基嗣(緩和)、土岐崇幸、八木泰憲、副島崇旨

2. 研修内容

1 年目の1か月研修は手術麻酔を経験し、周術期管理を広く学ぶことを主眼としています。手技として気道確保(マスク換気、気管挿管)、末梢静脈路・観血的動脈圧ライン確保の習得を目指しますが、2 ヶ月目以降は神経ブロック、脊椎麻酔、硬膜外麻酔も習得可能です。同じく、2 ヶ月目以降の研修では手術麻酔だけでなく、「緩和」「ペイン」「集中治療」の研修も可能です。ご相談ください。

	月	火	水	木	金
午前	8:15- 勉強会 8:30- カンファ 8:45- 手術麻酔	8:30- カンファ 8:45- 手術麻酔	8:30- カンファ 8:45- 手術麻酔	8:15- 勉強会(不定期) 8:30- カンファ 8:45- 手術麻酔	8:30- カンファ 8:45- 手術麻酔
午後	手術麻酔	手術麻酔	手術麻酔	手術麻酔	手術麻酔
備考	「ペイン」は月水金 AM 外来のみであり、その他の時間は「緩和ケア」、「手術麻酔」と組み合わせることが可能です。 集中治療部の研修に関しては、「集中治療部」の項をご参照ください。				

麻酔科(集中治療部)

1. 指 導 医

診療科長： 和田剛志

指導医：

2. 研修内容

前頁「麻酔科」を参照してください。

	月	火	水	木	金
午前	部署内カンファ 合同カンファ	部署内カンファ 合同カンファ	部署内カンファ 合同カンファ	部署内カンファ 合同カンファ	部署内カンファ 合同カンファ
午後	患者の治療 カルテ記載等	患者の治療 カルテ記載等	患者の治療 カルテ記載等	患者の治療 カルテ記載等	患者の治療 カルテ記載等
備考	ピンポイントで教員の講義、症例検討、慣れてきたら夜勤配置、患者の直接患者割付も考慮				

形成外科

1. 指 導 医

診療科長： 前田 拓

指導医： 石川耕資

2. 研修内容

手術や外来、カンファレンスでのプレゼンテーションを通じて、皮膚・軟部組織腫瘍、他科再建、頭蓋顔面・手足の先天異常および外傷など、多岐にわたる形成外科の診療領域全般にわたって広く知識を学ぶとともに、皮膚縫合などの基本手技を実践することが出来る。
希望者には顕微鏡を用いたマイクロサージャリーの縫合実習を行う。

	月	火	水	木	金
午前	手術	カンファレンス 外来	外来	カンファレンス 手術 外来	手術
午後	手術	総回診 カンファレンス	手術	特殊外来	手術

乳腺外科

1. 指導医

診療科長： 高橋將人

指導医： 細田充主、押野智博

2. 研修内容

- ・乳癌の疫学 社会的位置づけを知る
- ・医療チームの一員として、看護師、薬剤師等との多職種チーム医療を知る
- ・AYA 世代の悪性疾患として妊育性維持、遺伝医療について知る
- ・診療に対する心がけを学び、入院・外来患者の診察法を知る
- ・助手として手術に参加し、指導医の元に結紮の手技を習得し実践を行う
- ・病理所見に基づく、術後治療選択について学ぶ
- ・化学療法、分子標的療法の治療効果および副作用について学び、支持療法について知る
- ・カンファレンスの準備・参加、学会への参加を通じて、今後の医師として意識すべき事を身につける

	月	火	水	木	金
午前	症例カンファレンス、 回診 初診外来	回診 手術	術後カンファ、回診 初診外来	Cancer Board 回診、手術	回診 病棟管理
午後	病棟管理、回診	手術、回診 放射線治療カンファ	病棟管理、検査、回診 病理カンファ	手術、回診 画像カンファ(月 1 回)	病棟管理、回診

救急科

1. 指導医

診療科長： 和田剛志

指導医： 吉田知由、斉藤智誉、高氏修平、水柿明日美、土田拓見、早水真理子

2. 研修内容

救急搬入症例の初期診療、および集中治療を含む入院診療が主体の研修です。
担当医として患者を割り当て、上級医と相談しながら主体的に治療に携わります。
重症患者を中心に幅広く全身を診る力を習得できます。
Dr.car 出動で病院前診療にも携わります。
勤務体制:基本的に我々救急医と同じ働き方をさせていただきます。朝 8:45-夕 17:00 までの日勤を月 3 回程度と朝 8:45-翌朝 10:30 までの勤務を月に 6 回程度行っていただきます。それ以外の日は休みです。

	月	火	水	木	金
午前	申し送り、週間カンファレンス、抄読会、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理
午後	初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理

脳神経内科

1. 指 導 医

診療科長： 矢部一郎

指導医： 矢口裕章、松島理明、岩田育子、白井慎一、上床 尚、工藤彰彦、野村太一
(指導医は全員、神経内科専門医かつ総合内科専門医)

2. 研修内容

神経診察手技の習得とそこから得られた結果の意義を理解し、自ら診断・治療計画を立てることができるような屋根瓦式研修をおこないます。
基本的な神経疾患診療から最新の治療まで幅広く経験することが可能です。
研修医セミナー、症例検討会、筋病理カンファレンスが適宜開催されており、研修医が上級医から学ぶ機会を十分に提供する環境が整備されています。

	月	火	水	木	金
午前	回診 病棟	8:00-9:00 抄読会 9:00- 総回診	回診 病棟	回診 病棟	回診 病棟
午後	病棟 16:00- 神経放射線カンファ レンス 回診	病棟	病棟 回診	病棟 回診	病棟 回診
備考	朝回診は 8:30～、夕回診は 16:00～を基本としています。筋生検(不定期)は 8:30～。研修医セミナーや症例検討会、筋病理セミナー等が適宜開催されます。				

眼 科

1. 指 導 医

診療科長： 石田 晋

指導医： 南場研一、安藤 亮、木嶋理紀、董震宇、齋藤理幸、田川義晃

2. 研修内容

外来業務、病棟業務をおこない、眼科医に必要な知識や手技を習得する。
 豊富な手術症例に携わり、主に助手としてのスキルを学ぶ。
 研修中は頻繁に豚眼にて実際の器具を用いた手術実習をおこない、顕微鏡下で手技を学ぶ。

	月	火	水	木	金
午前	手術、病棟業務 外来	手術、病棟業務 外来	手術、病棟業務	手術、病棟業務 外来	手術、病棟業務
午後	手術、病棟業務 網膜カンファレンス クリニカルカンファ レンス	手術、病棟業務 ぶどう膜炎カンファ レンス	手術、病棟業務 教授回診 手術実習 クリニカルカンファ レンス イブニングクルーズ	手術、病棟業務 病棟医長回診	手術、病棟業務 イブニングクルーズ (月 1 回)

耳鼻咽喉科

1. 指導医

診療科長： 本間明宏

指導医： 中丸裕爾、加納里志、藤原圭志、森田真也、鈴木正宣、対馬那由多、

2. 研修内容

まず耳鼻咽喉・頭頸部の所見の取り方を習得してもらいます。外来では新患者の問診をとり、上級医とともに診察、検査を行います。病棟では主治医の一員として担当患者の診察、全身管理を行います。手術では助手として基本的手技を習得した上で、気管切開術など基本的な手術においては上級者の指導のもとで術者として経験できます。カンファレンスでは術前患者の紹介、術後患者の報告を行ってもらいます。

	月	火	水	木	金
午前	8:00 手術、病棟回診、一般外来	7:30 カンファレンス 8:30 病棟回診、専門外来	8:30 病棟回診、一般外来、専門外来	7:30 カンファレンス 8:00 手術、病棟回診	8:30 病棟回診、一般外来、専門外来
午後	手術、病棟業務	14:00 頭頸部カンファレンス 病棟業務	病棟業務	手術、病棟業務	病棟業務

皮膚科

1. 指導医

診療科長： 氏家英之

指導医： 夏賀 健、村松 憲、渡邊美佳、伊東孝政、宮内俊成、今福恵輔

2. 研修内容

病棟での患者管理

- ・チーム医療の一員として、病棟での患者管理に携わり、指導医のよき模範となる診療を行う
- ・各種検査の実践・理解・説明

基本的手術操作の獲得

- ・皮膚外科の基本手技を理解し、真皮および表皮縫合などができる
- ・植皮を必要とする悪性腫瘍摘出術など様々な手術の助手を経験する

外来診療

- ・指導医の皮膚科外来の診療助手を務める

	月	火	水	木	金
午前	外来 手術	外来 病棟	外来・専門外来(アトピー) 手術	総回診 病棟	外来 病棟
午後	病棟 手術	病棟 専門外来(水疱症) 病理ティーチング	病棟 手術 病理ティーチング 医局カンファレンス	専門外来 (乾癬、皮膚外来、 PUVA) 病棟 研修医プログラム	病棟 専門外来 (表皮水疱症・魚鱗 癬)

精神科神経科

1. 指導医

診療科長： 加藤隆弘

指導医： 朝倉 聡、賀古勇輝、橋本直樹、三井信幸、成田 尚、齊藤卓弥、堀之内徹、
中村悠一、高田 佳、藤井 泰

2. 研修内容

- 入院患者の担当医：
上級医と一緒に担当(月 6 名程度)、診療グループでもサポート、疾患が偏らないよう振り分け
長期研修の場合、診療グループは数ヶ月ごとにローテート
- 外来初診患者の問診と陪席：
問診と初診医の診察見学(1 日 2 名予約)
- カンファレンスでの発表：
火・木の朝に入院患者のカンファレンス開催、月・水の夕方にも症例検討会開催
火にリエゾンカンファレンス開催
- 系統講義：
短期研修向け(1 か月)→月 7 時間、長期研修向け(通年)→年間 120 時間以上
- 講演会・研究発表(教室行事)：
毎週水曜日 17 時から開催

	月	火	水	木	金
午前	9:30 外来問診・陪席	8:30 病棟カンファ 9:30 外来問診・陪席	8:30 系統講義(年間) 9:30 外来問診・陪席	8:30 病棟カンファ 9:30 外来問診・陪席	8:30 系統講義(年間) 9:30 外来問診・陪席
午後	13:00 多職種カンファ 13:30 グループ回診 14:30 総回診 15:00 症例検討会	14:30 系統講義(月 1) 15:00 リエゾンカンファ 16:00 系統講義(月 1) 17:00 系統講義(年間)	13:40 病棟レク 16:00 系統講義(月 2) 17:00 教室行事	15:00 系統講義(月 1) 16:00 系統講義(月 2) 17:00 系統講義(年間)	15:00 系統講義(月 2) 16:00 系統講義(年間) 17:00 系統講義(年間)

脳神経外科

1. 指導医

診療科長： 藤村 幹

指導医： 長内俊也、杉山 拓、山口 秀、川堀真人、岩崎素之、藤村 幹、伊師雪友

2. 研修内容

脳血管障害(小児含む)、脳腫瘍(小児含む)、脊髄疾患(小児含む)、機能的外科(functional neurosurgery)を中心に、幅広い神経疾患の外科治療を実際に主治医となり研修していただきます。習熟度・理解度に応じ、手術に加わっていただきます。メンバーとして責任を持って診療に参加してもらいます。2か月以上を推奨する理由は、学会発表の機会にも触れていただくためです。期間中は希望進路に関わらずメンバーの一員として働いていただきます。

	月	火	水	木	金
午前	週間予定確認(医局) 手術または脳血管造影 創部処置など	総回診 朝ミーティング、手術 創部処置、希望に応じ外来見学	朝ミーティング 手術 創部処置など	総回診 手術(主に血管内治療)	朝ミーティング 手術 創部処置など
午後	手術 放射線カンファ タミーティング+回診	イブニングセミナー タミーティング+回診	手術 タミーティング+回診	タミーティング+回診	手術 タミーティング+回診
備考	随時、術前カンファレンスを行います。				

リハビリテーション科

1. 指導医

診療科長： 向野雅彦

指導医： 遠山晴一

2. 研修内容

運動学的・神経学的評価、神経心理学的評価、ADL 評価、嚥下機能評価について学ぶ。
 患者の生活機能だけでなく背景因子についても把握し、患者の抱える問題に対する適切なリハビリテーション計画・処方など、「活動」に対する支援について学ぶ。

	月	火	水	木	金
午前	カンファレンス 抄読会／勉強会 新来見学	病棟診療 新来見学	カンファレンス 医局会 リハ科病棟回診	病棟診療 新来見学	病棟診療 新来見学
午後	病棟診療 嚥下造影(内視鏡) 検査 カンファレンス	病棟診療	嚥下造影(内視鏡) 検査 嚥下カンファレンス 合同カンファレンス	病棟診療ボツリヌス療法	病棟診療

産婦人科

1. 指 導 医

診療科長： 渡利英道

指導医： 工藤正尊、小林範子、金野陽輔、三田村卓、山崎博之、井平 圭、黒須博之、
朝野拓史、細川亜美、齊藤良玄、馬詰 武、能代 究

2. 研修内容

産科(周産期)婦人科(腫瘍、女性医学)生殖医学の3分野に分かれて研修します。3分野全ての研修が理想ですが1分野1か月でも大丈夫です。

産科	月	火	水	木	金
8:30～	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス
午前	病棟 妊婦健診	病棟 新来 手術	病棟 妊婦健診	病棟 新来 妊婦健診	病棟 新来 手術
午後	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟
14:00～	産科ミーティング				
16:30～	合同ミーティング		勉強会		

婦人科	月	火	水	木	金
8:00～	カンファレンス	手術 病棟	カンファレンス	病棟	手術 病棟
午前	病棟 新来		病棟 新来		
午後	病棟	病棟	病棟	病棟	手術 病棟
14:00～	放射線カンファ レンス	手術			
15:00～	プレゼン準備	病棟			
16:30～	合同ミーティング	術後管理他			
17:30～			勉強会(月1～2 回)	病理カンファレン ス(月1回)	

小 児 科

1. 指 導 医

診療科長： 渡利英道

指導医： 長 祐子、平林真介、佐藤泰征、武田充人、兼次洋介、植田佑樹、泉 岳、
山澤弘州、永井礼子、植木将弘、寺下友佳代、森川俊太郎、江川 潔、
安藤明子

2. 研修内容

血液・腫瘍・免疫	白血病や小児固形腫瘍の診断、化学療法、造血細胞移植の管理を学びます。 また、入院患者さんによっては免疫異常症、自己免疫・自己炎症性疾患の診断・治療を経験できることもあります。 日常診療のなかでは点滴確保や骨髄穿刺、腰椎穿刺といった処置も経験できるほか、骨髄標本の読み方の指導も行っています。 また、外来では、アレルギー疾患も経験することが可能です。
循環器	先天性心疾患を中心に新生児から成人までを診療しており、循環管理について学べます。 採血や静脈ライン確保などの手技に加え、希望に応じて心エコーやカテーテルにも触れてもらえます。
内分泌	成長障害・内分泌疾患の診断、治療、検査、遺伝学的検査を研修。 1. 甲状腺疾患(先天性、後天性) 2. 下垂体疾患(前葉、後葉) 3. 性腺疾患 4. 副腎疾患 5. 骨系統疾患 小児 1 型糖尿病・2型糖尿病・肥満症の診断、治療の研修 先天性疾患、遺伝性疾患、家族性腫瘍、などの遺伝医療の研修
腎臓	小児腎臓病全般の診療を行っています。 主な疾患として、ネフローゼ症候群、IgA腎症、膜性腎症、膜性増殖性糸球体腎炎、紫斑病性腎炎、先天性腎尿路異常、遺伝性腎疾患、ループス腎炎、腎不全、学校検尿異常(血尿、蛋白尿)などが挙げられます。
神経	小児神経疾患全般(てんかん、筋疾患、神経変性疾患など)に関して入院・外来での研修を行っています。 また、発達障害、自閉症に関して、主に外来での診療研修を行っています。
新生児	新生児グループでは、正常新生児から出生体重 500g 未満などの成育限界に近いハイリスク新生児までを診療の対象としています。 産科のみならず、小児外科や眼科など多数の診療科と連携して診療に取り組んでいます。
備考	【新患紹介・総回診の日程】新生児グループ:火曜日午後1時、その他のグループ:水曜日午後1時半 * 1週間のスケジュールはグループによって異なります。

放射線治療科

1. 指 導 医

診療科長： 青山英史

指導医： 橋本孝之、安田耕一、西岡健太郎、森 崇、小泉富基

2. 研修内容

放射線治療全般についての研修を行います。具体的には新患の診察、放射線治療計画の作成、放射線治療中の診察を指導医とともにを行います。
放射線治療の対象は原発性脳腫瘍、頭頸部腫瘍、肺癌、乳癌、消化器癌、泌尿器腫瘍、婦人科腫瘍、骨軟部腫瘍、小児腫瘍、悪性リンパ腫、転移性腫瘍等、全身・多岐にわたるため、全身の診察技術に触れることができます。

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診 外来診察	病棟回診 外来診察	病棟カンファレンス リサーチミーティング	消化器科カンファレンス 病棟回診 外来診察	病棟回診 放射線治療中診察
午後	婦人科カンファレンス 小線源治療 治療計画作成 症例検討会	頭頸部カンファレンス 治療計画作成 症例検討会	治療計画作成 症例検討会	治療計画作成 小線源治療 症例検討会	治療計画作成 症例検討会

放射線診断科・核医学診療科

1. 指導医

診療科長： 放射線診断科長 工藤與亮

核医学診療科長 平田健司

指導医： 放射線診断科

阿保大介、藤間憲幸、坂本圭太、原田太以佑、亀田浩之、池辺洋介、

清水幸衣、森田 亮、小野寺麻希、常田慧徳、木野田直也、加藤大祐

核医学診療科

渡邊史郎、西岡典子

2. 研修内容

体幹部 中枢神経 IVR(共通) 核医学	<p>研修開始時に体幹部、中枢神経、IVR、核医学のどれを研修希望かを確認します。</p> <p>研修は 8:30-17:00 まで、体幹部(特に胸部・腹部の CT)・中枢神経グループ(頭部 CT/MRI)はティーチングファイルでの自己学習の後、実際の症例を読影し適宜指導医から読影レポートのチェック・指導を受けます。</p> <p>・体幹部・中枢神経読影の研修として、画像検査の適応やモダリティ選択、造影検査の必要性、画像解剖、正常変異や病的所見の検出や記載、病態に応じた記載内容の検討、悪性腫瘍のステージング、鑑別疾患の挙げ方などを学びます。</p> <p>・IVR では朝 8:30～の症例検討会から手技の見学、手伝いをします。手技の内容や適応、合併症を学びます。</p> <p>・核医学では実際の RI 投与から画像の撮像、読影の流れを理解し、FDG を主体とした PET/CT 検査及び各種 RI 検査の総合的な画像診断を学んでももらいます。また、甲状腺癌、Basedow 病、前立腺癌、神経内分泌腫瘍に対する RI 内用療法の適応や特長についても学んでももらいます。医療 AI に関するカンファレンスも開催しており、希望に応じて AI に関する講義・指導を行います。</p>
-------------------------------	---

	月	火	水	木	金
午前	9:30- 症例カンファレンス 読影	読影	読影	8:00- 朝カンファレンス 読影	読影
午後	読影	読影 16:30- 症例カンファレンス	読影 16:30- 症例カンファレンス	読影 16:30- 症例カンファレンス	読影 16:30- 症例カンファレンス
備考	各グループは最大 2 名まで、必要に応じて研修医間で研修の順番や期間を調整して頂く可能性があります。研修するグループは週単位で調整可能です。				

病理診断科

1. 指導医

診療科長： 田中伸哉

指導医： 外丸詩野、岡田宏美

2. 研修内容

実際の手術検体や生検検体の病理診断の体験を通じ、適切な検体の取り扱いや代表的な疾患の病理所見の診かた、鑑別診断などの思考過程、報告書記載の要点などを学びます。術中迅速診断や細胞診にも触れ、その意義や限界を学びます。日々の検討会、臨床病理カンファレンス、地方会などにおけるプレゼンテーションを通じて、病理所見や考察を正しく簡潔に伝えるスキルを学びます。研究を希望する場合は、診療科長と相談の上、研究計画を策定し、パラフィン組織などを用いて、免疫組織化学や DNA、RNA、タンパク質の抽出、サンガーシーケンス解析、融合遺伝子解析、メチル化解析、質量分析などを行います。結果の解釈や考察を通して、臨床現場における問題や疑問を探究し、解決する姿勢を身につけます。

	月	火	水	木	金
午前	組織診断/顕鏡指導	組織診断/顕鏡指導	11:30 組織検討会	組織診断/顕鏡指導	組織診断/顕鏡指導
午後	報告書作成/(切り出し)	報告書作成/(切り出し)	13:45 皮膚病理検討会 (切り出し)/組織診断/顕鏡指導	報告書作成/(切り出し)	報告書作成/(切り出し)
備考	初日は 8:30 に、2 階病理部の診断室に集合してください。切り出しは週 1 回程度予定しています。				

感染制御部

1. 指 導 医

部長： 遠藤知之
指導医： 遠藤知之

2. 研修内容

①血液培養陽性患者に関する診療支援、感染症の診断および治療に関するコンサルテーションを中心に感染症診療の基本を学びます。これらを通して、抗菌薬適正使用に関する基本的な知識、予防接種に関する基礎的な知識、TDMの基本的な考え方等を習得します。
②ICT（Infection Control Team）と共に、院内感染事例の対応、ICT 会議や ICT ラウンドへの参加を通して、感染制御の考え方を習得します。

	月	火	水	木	金
午前	症例検討	症例検討	症例検討	症例検討	症例検討
午後	感染症セミナー	感染症セミナー	ICT ラウンドに同行	感染症セミナー	感染症セミナー

医療・ヘルスサイエンス研究開発機構

1. 指導医

機構長： 佐藤典宏
 プロモーションユニット長： 佐藤典宏
 イノベーションユニット長： 氏家英之
 指導医： 大高和人

2. 研修内容

治験・臨床研究は、①臨床研究実施計画書の作成、②手順書等の文書作成、③研究支援体制のチームビルディング、④倫理審査委員会への申請と承認、⑤研究の実施、⑥試験データのデータマネジメント、⑦統計解析、⑧最終報告書作成、これら一連の流れで行われます。研修プログラムは、研究の開始から終了までに必要な手順とその流れが理解できるよう、講義、実習、課題から構成されます。これらに加えて、知財戦略や細胞プロセッシングセンター・バイオバンク等における先端的な医療技術開発の現場にも触れることが出来るよう研修プログラムを準備しています。

	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション 研修課題の設定 講義： ・臨床研究・治験概要	講義： ・知財戦略 ・再生医療(CPC) ・臨床研究と厚労省行政	講義： ・臨床研究のCRC支援 ・Phase1について ・生物統計	実習 ・モニタリング研修 ・モニター認定証発行	課題の実施
午後	講義： ・臨床研究データのピットホール ・研究の医療安全管理	講義： ・バイオバンク活用による先端診断技術開発 課題の実施	講義： ・臨床研究の倫理 課題の実施	生命・医学系研究倫理審査委員会／認定臨床研究審査委員会への陪席(開催される場合)	・技術専門員会で課題の発表 ・研修ラップアップ
備考	直近で実施した研修プログラムの例として示しています。				

臨床遺伝子診療部

1. 指導医

診療部長： 山田崇弘

指導医： 松島理明

2. 研修内容

臨床遺伝子診療部では、遺伝診療(検査・診断)やヒトゲノム研究にかかわる遺伝カウンセリングを実施しています。研修期間中は、遺伝カウンセリングの同席やレクチャーを通して遺伝診療の一端に触れることができます。

	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション 家系図記載方法	遺伝カウンセリング 実習	遺伝カウンセリング 実習	遺伝カウンセリング 実習	遺伝カウンセリング 実習
午後	遺伝カウンセリング 実習	産科遺伝出生前診 断外来見学	遺伝カウンセリング 実習	遺伝カウンセリング 実習	遺伝カウンセリング 実習
備考	研修期間中に、多領域(産婦人科、小児科、耳鼻科、神経内科、がん遺伝子診断部等)の遺伝診療についてのレクチャー及び定期カンファレンスあり。				

超音波センター

現在、初期研修の受入を休止しております。

検査・輸血部

現在、初期研修の受入を休止しております。

募集定員ならびに募集及び採用の方法

1. 募集定員

- ・標準プログラム 30名
(国際的医療人育成プログラム及びCLARCプログラム(若干名)を含む)
- ・実践産婦人科プログラム 2名
- ・実践小児科プログラム 2名

2. 募集方法

- ① 募 集 募集定員のすべてをマッチングで募集する。
マッチングで欠員が生じた場合には、マッチング終了後に2次募集する。
- ② 応募〆切 令和8年7月17日(金)(予定)
- ③ 応募書類 医科臨床研修医申請書、国際的医療人育成プログラム志望理由書
(志望者のみ)
- ④ 選 考 日 令和8年8月16日(日)(予定)
- ⑤ 選考方法 書類審査・面接試験(WE B面接)
- ⑥ 採用通知 マッチング結果によりただちに本人に通知する。

※詳細は後日ホームページに掲載します。

3. その他

以下の病院の協力型臨床研修病院として、研修医の受け入れを行うことがある。

市立函館病院
市立札幌病院
JA 北海道厚生連札幌厚生病院
公益社団法人北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院
医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院
医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院
KKR札幌医療センター
NTT 東日本札幌病院
医療法人 母恋 日鋼記念病院
市立室蘭総合病院
市立旭川病院
JA 北海道厚生連旭川厚生病院
JA 北海道厚生連帯広厚生病院
医療法人王子総合病院
独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院

砂川市立病院
江別市立病院
岩見沢市立総合病院
社会医療法人北斗 北斗病院
滝川市立病院
苫小牧市立病院
社会福祉法人 北海道社会事業協会帯広病院
北見赤十字病院
市立釧路総合病院
社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院
製鉄記念室蘭病院
社会医療法人母恋 天使病院
市立千歳市民病院
独立行政法人国立病院機構 函館病院
社会福祉法人 北海道社会事業協会小樽病院
深川市立病院
釧路赤十字病院
KKR札幌医療センター 斗南病院
旭川赤十字病院
独立行政法人国立病院機構旭川医療センター
市立稚内病院
独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター
JA 北海道厚生連網走厚生病院
恵み野病院
八雲総合病院
小樽市立病院
JA 北海道厚生連倶知安厚生病院
社会医療法人孝仁会札幌孝仁会記念病院
釧路労災病院
地域医療機能推進機構札幌北辰病院

臨床研修協力病院一覧

病 院 名	住 所	電話番号	F A X
市立函館病院	函館市港町 1 丁目 10 番 1 号	0138-43-2000	0138-43-4434
市立札幌病院	札幌市中央区北 11 西 13-1-1	011-726-2211	011-726-7912
JA 北海道厚生連札幌厚生病院	札幌市中央区北 3 条東 8 丁目 5 番地	011-261-5331	011-271-5320
(独) 地域医療機能推進機構札幌北辰病院	札幌市厚別区厚別中央 2 条 6 丁目 2-1	011-893-3000	011-893-4001
医療法人徳洲会札幌徳洲会病院	札幌市厚別区大谷地東 1 丁目 1-1	011-890-1110	011-896-2202
医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院	札幌市東区北 33 条東 14 丁目 3-1	011-722-1110	011-723-5631
KKR 札幌医療センター	札幌市豊平区平岸 1 条 6 丁目 3-40	011-822-1811	011-841-4572
社会医療法人母恋日鋼記念病院	室蘭市新富町 1 丁目 5-13	0143-24-1331	0143-22-5296
市立旭川病院	旭川市金星町 1 丁目 1 番 65 号	0166-24-3181	0166-24-1125
JA 北海道厚生連旭川厚生病院	旭川市 1 条通 24 丁目 111 番地	0166-33-7171	0166-33-6075
JA 北海道厚生連帯広厚生病院	帯広市西 14 条南 10 丁目 1 番地	0155-65-0101	0155-65-0105
(独) 労働者健康安全機構釧路労災病院	釧路市中園町 13 番 23 号	0154-22-7191	0154-25-7308
名寄市立総合病院	名寄市西 7 条南 8 丁目 1 番地	01654-3-3101	01654-2-0567
医療法人王子総合病院	苫小牧市若草町 3 丁目 4 番 8 号	0144-32-8111	0144-32-7119
社会医療法人北楡会札幌北楡病院	札幌市白石区東札幌 6 条 6 丁目 5-1	011-865-0111	011-865-9719
(独) 地域医療機能推進機構北海道病院	札幌市豊平区中の島 1 条 8 丁目 3-18	011-831-5151	011-821-3851
社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院	函館市五稜郭町 38 番 3 号	0138-51-2295	0138-56-2695
砂川市立病院	砂川市西 4 条北 3 丁目 1 番 1 号	0125-54-2131	0125-54-0101
江別市立病院	江別市若草町 6 番地	011-382-5151	011-384-1321
岩見沢市立総合病院	岩見沢市 9 条 7 丁目 2 番地	0126-22-1650	0126-25-0886
滝川市立病院	滝川市大町 2 丁目 2 番 34 号	0125-22-4311	0125-24-6010
苫小牧市立病院	苫小牧市清水町 1 丁目 5 番 20 号	0144-33-3131	0144-34-7511
社会福祉法人北海道社会事業協会帯広病院	帯広市東 5 条南 9 丁目 2	0155-22-6600	0155-24-7076
北見赤十字病院	北見市北 6 条東 2 丁目	0157-24-3115	0157-22-3339
市立釧路総合病院	釧路市春湖台 1 番 12 号	0154-41-6121	0154-41-4080
社会福祉法人函館厚生院函館中央病院	函館市本町 33 番 2 号	0138-52-1231	0138-54-7520
社会医療法人製鉄記念室蘭病院	室蘭市知利別町 1 丁目 45 番地	0143-44-4650	0143-47-4354
社会医療法人母恋天使病院	札幌市東区北 12 条東 3 丁目 1 番 1 号	011-711-0101	011-751-1708
市立千歳市民病院	千歳市北光 2 丁目 1 番 1 号	0123-24-3000	0123-24-3005
(独) 国立病院機構 函館医療センター	函館市川原町 18 番 16 号	0138-51-6281	0138-51-6288
社会福祉法人北海道社会事業協会小樽病院	小樽市住ノ江 1 丁目 6 番 15 号	0134-23-6234	0134-33-7752
釧路赤十字病院	釧路市新栄町 21 番 14 号	0154-22-7171	0154-24-7880
公益財団法人北海道医療団帯広第一病院	帯広市西 4 条南 15 丁目 17 番地 3	0155-25-3121	0155-25-1172
国家公務員共済組合連合会斗南病院	札幌市中央区北 4 条西 7 丁目 3-8	011-231-2121	011-231-5000
旭川赤十字病院	旭川市曙 1 条 1 丁目 1 番 1 号	0166-22-8111	0166-24-4648
市立稚内病院	稚内市中央 4 丁目 11 番 6 号	0162-23-2771	0162-23-5636
JA 北海道厚生連網走厚生病院	網走市北 6 西 1-9	0152-43-3157	0157-43-6586
小樽市立病院	小樽市若松 1 丁目 1 番 1 号	0134-25-1211	0134-32-6424

臨床研修施設

*施設区分
1:臨床研修病院
2:臨床研修協力施設

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○北海道大学病院	030010	1	北海道	札幌市	南須原 康行	843	237	○	○		○	○	○	○		○	○	
市立札幌病院	030003	1	北海道	札幌市	西川 秀司	672	63	○	○		○	○	○	○	○	○	○	院外研修協力病院
ICHO札幌北辰病院	30007	1	北海道	札幌市	小池 雅彦	276	18	○	○		○	○	○	○	○		○	院外研修協力病院
手稲漢仁会病院	030008	1	北海道	札幌市	古田 康	670	30	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院 (国際的医療人優先)
医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	030011	1	北海道	札幌市	奥山 淳	301	34	○	○		○	○	○			○	○	院外研修協力病院
KKR札幌医療センター	30016	1	北海道	札幌市	磯部 宏	410	39	○	○		○	○	○		○	○	○	院外研修協力病院
NTT東日本札幌病院	030019	1	北海道	札幌市	吉岡 成人	301	24	○	○		○	○	○		○	○	○	院外研修協力病院
市立旭川病院	030024	1	北海道	旭川市	鎌石 正樹	481	36	○	○		○	○	○		○	○	○	院外研修協力病院
JA北海道厚生連 帯広厚生病院	030027	1	北海道	帯広市	佐澤 陽	651	53	○										院外研修協力病院
医療法人 王子綜合病院	030030	1	北海道	苫小牧市	岩井 和浩	440	29	○	○		○	○	○				○	院外研修協力病院
札幌北極病院	030032	1	北海道	札幌市	目黒 順一	281	9	○	○		○	○			○		○	院外研修協力病院
砂川市立病院	030830	1	北海道	砂川市	木村 眞司	405	34	○	○		○		○	○	○	○	○	院外研修協力病院
北海道社会事業協会帯広病院	030913	1	北海道	帯広市	青田 一郎	300	17	○	○		○	○				○	○	院外研修協力病院
製鉄記念室蘭病院	030956	1	北海道	室蘭市	前田 延洋	347	23	○	○		○	○				○	○	院外研修協力病院
市立稚内病院	031147	1	北海道	稚内市	國枝 保幸	332	12	○		○	○	○	○				○	院外研修協力病院
JA北海道厚生連 倶知安厚生病院	041514	1	北海道	倶知安町	九津見 圭司	234	15			○					○			院外研修協力病院 (国際的医療人優先)
カレス記念病院	260001	1	北海道	札幌市	浅香 正博	350	10	○			○						○	院外研修協力病院 (総合診療科)
亀田病院	260002	1	北海道	函館市	肥川 浩之	179	5										○	院外研修協力病院
医療法人湊和会 江別病院	260003	1	北海道	江別市	品田 佳秀	199	4	○	○		○					○	○	院外研修協力病院
留萌市立病院	030923	1	北海道	留萌市	高橋 文彦	144	7			○					○			地域医療研修協力病院
奥尻町国民健康保険病院	031136	1	北海道	奥尻町	泉里 豪俊	40	2			○								地域医療研修協力病院
利尻島国保中央病院	032091	2	北海道	利尻町	上達野 徳志	42	1			○								地域医療研修協力病院
本別町国民健康保険病院	034839	2	北海道	本別町	一条 正彦	60	5			○								地域医療研修協力病院
士別市立病院	034848	1	北海道	士別市	岩野 博俊	148	2			○								地域医療研修協力病院
町立中標津病院	034850	1	北海道	中標津町	久保 光司	173	5			○								地域医療研修協力病院
八雲綜合病院	034876	1	北海道	八雲町	石田 博英	327	12											地域医療研修協力病院
国民健康保険東川町立診療所	041115	2	北海道	東川町	古川 倫也	19	2			○								地域医療研修協力病院
北海道社会事業協会余市病院	056543	1	北海道	余市町	吉田 秀明	170	2			○								地域医療研修協力病院
栗山赤十字病院	056556	2	北海道	栗山町	天崎 吉晴	136	6											地域医療研修協力病院
更別村国民健康保険診療所	056557	2	北海道	更別村	山田 康介	19	2											地域医療研修協力病院
寿都町立寿都診療所	086118	2	北海道	寿都町	金江 肇安	19	1			○								地域医療研修協力病院
医療法人徳洲会 札幌真駒内病院	110008	1	北海道	札幌市	宮坂 祐司	80	2			○								地域医療研修協力病院
黒松内町国保くろまつない プナの森診療所	126816	2	北海道	黒松内町	尾形 和泰	19	1											地域医療研修協力病院
医療法人北海道家庭医療学センター 栄町ファミリークリニック	147583	2	北海道	札幌市	中川 貴史	—	1			○					○			地域医療研修協力病院
向陽台ファミリークリニック	188956	2	北海道	千歳市	中島 徹	—	2			○								地域医療研修協力病院
帯広徳洲会病院	031070	1	北海道	音更町	竹之内 豪	152	6			○								地域医療研修協力病院
JA北海道厚生連 美深厚生病院	032456	1	北海道	美深町	森原 広昌	64	2											地域医療研修協力病院
足寄町国民健康保険病院		1	北海道	足寄町	村上 英之	60	2			○								地域医療研修協力病院
十勝いけだ地域医療センター	116456	2	北海道	池田町	長田 雅樹	60	1			○								地域医療研修協力病院
訪問診療クリニック茨原		2	北海道	札幌市	土川 貴裕		1			○								地域医療研修協力病院
早翔会記念病院	032233	1	鹿児島	薩摩川内市	内野 靖	199	5											鹿児島地域医療研修協力病院
出水郡医師会広域医療センター	032237	1	鹿児島	阿久根市	内匠 拓朗	222	11			内匠								鹿児島地域医療研修協力病院
曾於医師会立病院	032243	2	鹿児島	曾於市	才原 哲史	198	2			○								鹿児島地域医療研修協力病院
公立種子島病院	032248	1	鹿児島	南種子町	野田 一成	62	1			○								鹿児島地域医療研修協力病院
大島郡医師会病院	032250	1	鹿児島	奄美市	満 純孝	141	3											鹿児島地域医療研修協力病院
奄美中央病院	033293	2	鹿児島	奄美市	平元 良英	110	1			○								鹿児島地域医療研修協力病院
薩摩川内市下飯手打診療所	033850	2	鹿児島	薩摩川内市	室原 善信	19	1			○								鹿児島地域医療研修協力病院
医療法人南漢会 宮上病院	067255	2	鹿児島	徳之島町	宮上 寛之	42	1			○								鹿児島地域医療研修協力病院
サダン・リレーション病院	086115	2	鹿児島	枕崎市	奥村 浩	131	6											鹿児島地域医療研修協力病院
社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター	086116	2	鹿児島	西之表市	高尾 尊身	204	7											鹿児島地域医療研修協力病院
小林市立病院	110019	1	宮崎	小林市	坪内 斉志	143	5			○								鹿児島地域医療研修協力病院
恒心会 おぐら病院	116632	1	鹿児島	鹿屋市	東郷 泰久	216	6			○								鹿児島地域医療研修協力病院
種子島産婦人科医院	137411	2	鹿児島	西之表市	八坂 俊輔	15	1			○								鹿児島地域医療研修協力病院
枕崎市立病院	137416	2	鹿児島	枕崎市	市来 仁志	55	2			○								鹿児島地域医療研修協力病院
医療法人東札幌病院	188959	2	北海道	札幌市	日下部 俊朗	243	6										○	緩和ケア研修協力病院

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○市立函館病院	030001	1	北海道	函館市	森下 清文	648	48	○	○		○	○	○				○	たすきがけ研修病院

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○市立札幌病院	030003	1	北海道	札幌市	西川 秀司	672	63	○	○		○	○	○	○	○	○	○	たすきがけ研修病院
札幌市保健所	032428	2	北海道	札幌市	館石 宗隆	—	1										○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○JA北海道厚生連 札幌厚生病院	030004	1	北海道	札幌市	本間 重紀	493	58	○	○		○	○	○			○	○	たすきがけ研修病院

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○ICHO札幌北辰病院	030007	1	北海道	札幌市	小池 雅彦	276	18	○	○		○	○	○				○	たすきがけ研修病院
医療法人重仁会大谷地病院	030017	1	北海道	札幌市	田尾 大樹	315	7							○			○	
社会医療法人医仁会 中村記念病院	106123	1	北海道	札幌市	中村 博彦	499	32		○		○						○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備考
○医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	030011	1	北海道	札幌市	奥山 淳	301	34	○	○		○	○	○				○	たすきがけ研修病院
札幌南徳洲会病院	056506	2	北海道	札幌市	西十坊 克也	88	3										○	
おおさきクリニック		2	北海道	江別市	國本 尚彦	—	0	○								○	○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院	030014	1	北海道	札幌市	山崎 誠治	336	36	○	○		○	○			○	○	○	たすきがけ研修病院
札幌佐藤病院	030015	1	北海道	札幌市	中村 潔	244	3								○		○	
名寄市立総合病院	030029	1	北海道	名寄市	重岸 克明	349	26						○				○	
札幌南徳洲会病院	056506	2	北海道	札幌市	西十坊 克也	88	3										○	
札幌トロイカ病院	070020	1	北海道	札幌市	有田 矩明	419	4								○		○	
天使病院	30969	1	北海道	札幌市	西村 光弘	260	32						○				○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○KKR札幌医療センター	030016	1	北海道	札幌市	磯部 宏	410	39	○	○		○	○	○		○	○	○	たすきがけ研修病院
医療法人社団 慈濃会 平松記念病院	030020	1	北海道	札幌市	宗 代次	228	7								○			
国家公務員共済組合連合会 斗南病院	031107	1	北海道	札幌市	加賀 基知三	300	38										○	
国家公務員共済組合連合会 佐世保病院	032345	1	長崎県	佐世保	ミヅ木 健二	306	13										○	
札幌医科大学附属病院	030018	1	北海道	札幌市	渡辺 敦	844	207										○	
JCHO北海道病院	030035	1	北海道	札幌市	古家 乾	314	31						○					
町立中標津病院	034850	2	北海道	中標津町	久保 光司	173	4				○							
済生会小樽病院	100011	1	北海道	小樽市	和田 卓郎	378	18				○							
北広島病院	188925	2	北海道	北広島市	野村 直弘	50	3				○							
恵庭南病院	096646	2	北海道	恵庭市	島田 通朗	150	1				○							
静明館診療所	096646	2	北海道	札幌市	矢崎 一雄	0	4				○							
函館市医師会病院	191159	2	北海道	函館市	鈴木 康弘	199	9				○							

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○社会医療法人 母恋 日鋼記念病院	030021	1	北海道	室蘭市	高橋 弘昌	348	17	○	○		○	○	○		○	○	○	たすきがけ研修病院
社会医療法人 母恋 天使病院	030969	1	北海道	札幌市	西村 光弘	260	32	○	○		○	○	○		○		○	
社会医療法人友愛会 恵愛病院	030022	1	北海道	登別市	森田 伸行	250	2								○			
市立室蘭総合病院	030023	1	北海道	室蘭市	金戸 宏行	549	11	○	○		○					○	○	
特定医療法人社団千寿会 三愛病院	031142	1	北海道	登別市	千葉 泰二	534	3								○			
医療法人 北晨会 恵み野病院	034855	1	北海道	恵庭市	貝嶋 光信	199	12	○										
医療法人社団医修会 大川原脳神経外科病院	041012	1	北海道	室蘭市	前田 高宏	137	4				○						○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○市立旭川病院	030024	1	北海道	旭川市	垂石 正樹	481	34	○	○		○	○	○	○		○	○	たすきがけ研修病院
旭川厚生病院	030025	1	北海道	旭川市	光部 兼六郎	460	43								○			
江別市立病院	030835	1	北海道	江別市	長谷部直幸	337	18	○					○					
旭川赤十字病院	031127	1	北海道	旭川市	牧野 善一	514	59	○	○								○	
国立病院機構旭川医療センター	031145	1	北海道	旭川市	西村 英夫	310	15	○										
旭川市保健所	032453	2	北海道	旭川市	鈴木 直己	—	1										○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○IA北海道厚生連 旭川厚生病院	030025	1	北海道	旭川市	光部 兼六郎	460	43	○	○		○	○	○		○	○	○	たすきがけ研修病院

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○IA北海道厚生連 帯広厚生病院	030027	1	北海道	帯広市	佐澤 陽	651	53	○	○		○	○	○	○			○	たすきがけ研修病院

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○独立行政法人労働者健康安全機構 釧路労災病院	30028	1	北海道	釧路市	藤原 信雄	391	16	○	○		○					○	○	たすきがけ研修病院
市立釧路総合病院	030922	1	北海道	釧路市	森田 研	641	23					○	○	○			○	
釧路赤十字病院	031088	1	北海道	釧路市	山口 辰美	483	19					○	○	○			○	
北海道釧路総合振興局 保健環境部保健行政室・釧路保健所	032404	2	北海道	釧路市	人見 嘉哲	—	1										○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○名寄市立総合病院	30029	1	北海道	名寄市	重岸 克明	349	26	○	○		○	○	○	○			○	たすきがけ研修病院
市立稚内病院	031147	1	北海道	稚内市	國枝 保幸	332	12										○	
北海道上川総合振興局保健環境部 名寄地域保健室	032097	2	北海道	名寄市	三浦 寛高	—	1										○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○医療法人 王子総合病院	030030	1	北海道	苫小牧市	岩井 和浩	440	29	○	○		○	○	○				○	たすきがけ研修病院
医療法人社団玄洋会中央佐藤病院	030031	1	北海道	苫小牧市	石川 幹雄	402	1								○			
苫小牧保健所	032098	2	北海道	苫小牧市	山本 長文	—	1										○	
老人保健施設ケアライフ王子	032441	2	北海道	苫小牧市	大岩 均	—	1										○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○札幌北榆病院	030032	1	北海道	札幌市	日黒 順一	281	12	○	○		○	○			○		○	たすきがけ研修病院
医療法人社団積信会 長野病院	030033	1	北海道	札幌市	石垣 博実	320	1							○			○	
医療法人育愛会 札幌東豊病院	030034	1	北海道	札幌市	大走 英介	67	4						○				○	

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○ICHO北海道病院	030035	1	北海道	札幌市	古家 乾	314	27	○	○		○	○	○		○	○	○	たすきがけ研修病院
勤医協中央病院	030066	1	北海道	札幌市	湯野 曉子	450	38		○									
ICHO札幌北辰病院	030007	1	北海道	札幌市	小池 雅彦	276	18	○										
医療法人社団 慈濃会 平松記念病院	030020	1	北海道	札幌市	宗 代次	228	7							○				
医療法人社団 五稜会病院	031138	1	北海道	札幌市	中島 公博	193	5							○				
北海道循環器病院	034857	2	北海道	札幌市	大堀 克己	95	4	○										○
札幌柏葉会病院	040040	1	北海道	札幌市	寺坂 俊介	167	8											○
札幌山の上病院	066793	1	北海道	札幌市	長谷川 公範	288	2											○
札幌しらかば台病院	090005	1	北海道	札幌市	後藤 啓	262	3											○

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○函館五稜郭病院	30763	1	北海道	函館市	矢和田 敦	475	45	○	○		○	○	○		○	○	○	たすきがけ研修病院
市立函館病院	030001	1	北海道	函館市	森下 清文	648	46					○						○
社会医療法人 函館博栄会 函館渡辺病院	031134	1	北海道	函館市	増岡 昭生	536	1							○				○
医療法人桂心会 函館新都市病院	041178	1	北海道	函館市	原口 浩一	155	4				○							○
函館脳神経外科病院	137323	1	北海道	函館市	妹尾 誠	128	1				○							○
亀田北病院	230009	1	北海道	函館市	宮澤 仁朗	400	1							○				旧市立から追加(内年数の中欄にて臨時併設院に該当する)

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○砂川市立病院	030830	1	北海道	砂川市	木村 真司	405	34	○	○		○	○	○	○	○	○	○	たすきがけ研修病院

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○江別市立病院	030835	1	北海道	江別市	長谷部直幸	337	18	○	○		○	○	○	○	○		○	たすきがけ研修病院

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○岩見沢市立総合病院	030844	1	北海道	岩見沢市	高橋 典彦	484	8	○	○		○	○	○	○			○	たすきがけ研修病院

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○滝川市立病院	30888	1	北海道	滝川市	松橋 浩伸	314	8	○	○		○			○			○	たすきがけ研修病院
砂川市立病院	030830	1	北海道	砂川市	木村 真司	405	34					○	○					

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○苫小牧市立病院	030909	1	北海道	苫小牧市	堀田 哲也	384	19	○	○		○	○	○			○	○	たすきがけ研修病院
苫小牧緑ヶ丘病院	031143	1	北海道	苫小牧市	土屋 潔	111	1							○				○
苫小牧保健所	032098	2	北海道	苫小牧市	堀 幹典	—	1											○
医療法人こふし ウトナイ病院	056553	1	北海道	苫小牧市	片岡 昌哉	177	1							○				○
医療法人社団玄洋会道央佐藤病院	030031	1	北海道	苫小牧市	石川 幹雄	402	1							○				○ R3プログラムから追加(適応変更)
医療法人資生会 千歳病院	147614	1	北海道	千歳市	佐藤 正俊	—	1							○				○ R3プログラムから追加(適応変更)

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○北海道社会事業協会帯広病院	030913	1	北海道	帯広市	吉田 一郎	300	20	○	○		○	○	○			○	○	たすきがけ研修病院
JA北海道厚生連 帯広厚生病院	030027	1	北海道	帯広市	佐澤 陽	651	53											○
社会医療法人北斗 北斗病院	030870	1	北海道	帯広市	新田 一美	260	9											○
医療法人社団博仁会 大江病院	031150	1	北海道	帯広市	大江 平	154	2							○				○
国立病院機構帯広病院	34847	1	北海道	帯広市	本間 裕士	314	1							○				○
北海道立緑ヶ丘病院	200004	1	北海道	音更町	林 公人	168	2							○				○

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○北見赤十字病院	030914	1	北海道	北見市	荒川 穰二	532	33	○	○		○	○	○			○	○	たすきがけ研修病院
旭川赤十字病院	031127	1	北海道	旭川市	牧野 憲一	520	58											○ 選択科:救急科
北海道立北見病院	116155	1	北海道	北見市	井上 聡巳	70	4	○		○	○							○ 内科必修科:呼吸器内科

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○市立釧路総合病院	030922	1	北海道	釧路市	森田 研	599	30	○	○		○	○	○			○	○	たすきがけ研修病院
北海道釧路総合振興局 保健環境部保健行政室・釧路保健所	032404	2	北海道	釧路市	人見 嘉哲	—	1											○

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備 考
○社会福祉法人 函館厚生院函館中央病院	030952	1	北海道	函館市	本橋 雅壽	527	29	○	○		○	○	○			○	○	たすきがけ研修病院
社会医療法人 函館博栄会 函館渡辺病院	031134	1	北海道	函館市	菅原 隆光	536	1							○				必修科:精神科
八雲総合病院	034876	1	北海道	八雲町	石田 博英	327	1							○				必修科:精神科

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備 考
○製鉄記念室蘭病院	030956	1	北海道	室蘭市	前田 征洋	347	25	○	○		○	○	○			○	○	たすきがけ研修病院
社会医療法人友愛会 恵愛病院	030022	1	北海道	登別市	森田 伸行	250	2							○				
特定医療法人社団千寿会 三愛病院	031142	1	北海道	登別市	千葉 泰二	534	3							○				

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備 考
○社会医療法人 母恋 天使病院	030969	1	北海道	札幌市	西村 光弘	260	32	○	○		○	○	○		○	○	○	たすきがけ研修病院
勤医協中央病院	030006	1	北海道	札幌市	鈴木 隆司	450	44		○								○	選択科:総合診療科
社会医療法人 母恋 日鋼記念病院	030021	1	北海道	室蘭市	柳谷 品仁	479	20	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
中江病院	032450	1	北海道	札幌市	小林 清樹	280	4								○			
北海道泌尿器科記念病院	066461	2	北海道	札幌市	船田 要	40	5											○
札幌麻生脳神経外科病院	090003	1	北海道	札幌市	飛騨 一利	145	8											○
社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院	090004	1	北海道	札幌市	大川 洋平	276	2											○

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備 考
○市立千歳市民病院	031020	1	北海道	千歳市	伊藤 昭宏	190	24	○	○		○	○	○		△	○	○	たすきがけ研修病院
医療法人賛生会 千歳病院	147614	1	北海道	千歳市	佐藤 正俊									○				R4年度追加申請予定

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備 考
○国立病院機構函館病院	031023	1	北海道	函館市	加藤 元嗣	365	18	○	○		○						○	たすきがけ研修病院
国立病院機構仙台医療センター	030046	1	宮城	仙台市	上之原 広司	660	87	○	○			○	○				○	
社会福祉法人 函館厚生院 函館中央病院	030952	1	北海道	函館市	本橋 雅壽	527	17					○	○					
社会医療法人 函館博栄会 函館渡辺病院	031134	1	北海道	函館市	増岡 昭生	536	1							○				
国立病院機構旭川医療センター	031145	1	北海道	旭川市	西村 英夫	310	15	○										
国立病院機構北海道医療センター	034846	1	北海道	札幌市	菊地 誠志	643	46	○	○		○	○		○		○		

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備 考
○北海道社会事業協会小樽病院	031051	1	北海道	小樽市	宮本 憲行	240	11	○	○		○	○	○			○	○	たすきがけ研修病院
北海道社会事業協会帯広病院	030913	1	北海道	帯広市	吉田 一郎	300	17										○	
小樽市立病院	040004	1	北海道	小樽市	越前谷 勇人	388	35	○	○					○				
済生会小樽病院	100011	1	北海道	小樽市	和田 卓郎	378	11	○										

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備 考
○釧路赤十字病院	031088	1	北海道	釧路市	近江 亮	482	16	○			○	○	○	×	○		○	たすきがけ研修病院
独立行政法人労働者健康安全機構 釧路労災病院	030028	1	北海道	釧路市	篠原 信雄	450	29	○			○					○	○	
北見赤十字病院	030914	1	北海道	北見市	荒川 穰二	532	33	○	○		○	○	○	○		○	○	
市立釧路総合病院	030922	1	北海道	釧路市	森田 研	643	23	○	○		○	○	○	○		○	○	
旭川赤十字病院	031127	1	北海道	旭川市	真名瀬 博人	520	58	○	○		○	○	○	○		○	○	
北海道釧路総合振興局 保健環境部保健行政室・釧路保健所	032404	2	北海道	釧路市	人見 嘉哲	—	1										○	
釧路市夜間急病センター	086276	2	北海道	釧路市	堀口 裕司	—	0		○									

病院名・施設名	病院施設番号	施設区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導医数	内科	救急部門	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	一般外来	麻酔科	選択科	備 考
○帯広第一病院	031089	1	北海道	帯広市	井伊 貴幸	199	8	○	○		○					○	○	たすきがけ研修病院
JA北海道厚生連帯広厚生病院	030027	1	北海道	帯広市	佐藤 陽	651	53					○						
医療法人社団博仁会 大江病院	031150	1	北海道	帯広市	大江 平	154	2							○				
慶愛病院	096268	2	北海道	帯広市	廣瀬 一浩	51	2						○					
社会事業協会帯広病院	030913	1	北海道	帯広市	吉田 一郎	300	17					○						
国立病院機構帯広病院	034847	1	北海道	帯広市	本間 裕士	314	1							○				
清水赤十字病院	090006	2	北海道	清水町	藤城 貴教	80	1										○	

病院名・施設名	病院施設 番号	施設 区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○斗南病院	31107	1	北海道	札幌市	奥芝 俊一	283	42	○	○		○		○	○	○	○	○	たすきがけ研修病院
医療法人育愛会 札幌東豊病院	030034	1	北海道	札幌市	犬走 英介	67	4						○					
社会医療法人 母恋 天使病院	030969	1	北海道	札幌市	西村 光弘	260	32					○						
医療法人社団 五稜会病院	031138	1	北海道	札幌市	中島 公博	193	4							○				
社会医療法人医仁会 中村記念病院	106123	1	北海道	札幌市	中村 博彦	499	32		○		○						○	選択科:脳神経外科・神経内科

病院名・施設名	病院施設 番号	施設 区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○旭川赤十字病院	31127	1	北海道	旭川市	真名瀬 博人	520	58	○	○		○	○	○			○	○	たすきがけ研修病院
市立旭川病院	030024	1	北海道	旭川市	垂石 正樹	481	36							○				
IA北海道厚生連 旭川厚生病院	030025	1	北海道	旭川市	光部 兼六郎	539	52					○	○					
名寄市立総合病院	030029	1	北海道	名寄市	眞岸 克明	349	26						○					
前橋赤十字病院	030111	1	群馬	前橋市	中野 実	555	75											2年次(8週以上)
北見赤十字病院	030914	1	北海道	北見市	荒川 穰二	532	33					○	○	○				
釧路赤十字病院	031088	1	北海道	釧路市	近江 亮	483	19					○	○					
医療法人社団 旭川圭泉会病院	031144	1	北海道	旭川市	眞江 寿一郎	399	7							○				
旭川リハビリテーション病院	034856	2	北海道	旭川市	進藤 順哉	298	2	○							○			
慶友会吉田病院	041001	1	北海道	旭川市	馬場 勝義	263	3	○							○			
北仁会旭山病院	041165	1	北海道	札幌市	市来 和政	329	3							○				
相川記念病院	060011	1	北海道	旭川市	中條 拓	116	2							○				

病院名・施設名	病院施設 番号	施設 区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○市立稚内病院	31147	1	北海道	稚内市	國枝 保幸	332	9	○			○	○	○	○			○	たすきがけ研修病院
市立札幌病院	030003	1	北海道	札幌市	西川 秀司	672	63										○	
名寄市立総合病院	030029	1	北海道	名寄市	眞岸 克明	349	26									○	○	

病院名・施設名	病院施設 番号	施設 区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○IA北海道厚生連網走厚生病院	034851	1	北海道	網走市	中野 詩朗	345	10	○			○	○	○				○	たすきがけ研修病院
IA北海道厚生連帯広厚生病院	030027	1	北海道	帯広市	佐藤 陽	651	53		○									

病院名・施設名	病院施設 番号	施設 区分*	都道府県	市町村	病院管理者 (病院長等)	病床数	指導 医数	内科	救急 部門	地域 医療	外科	小児 科	産婦 人科	精神 科	一般 外来	麻酔 科	選択 科	備 考
○小樽市立病院	040004	1	北海道	小樽市	越前谷 勇人	388	35	○	○		○	○	○	○			○	たすきがけ研修病院
北海道社会事業協会小樽病院	031051	1	北海道	小樽市	宮本 憲行	240	13					○	○					
小樽市保健所	033436	2	北海道	小樽市	田中 安之	—	1										○	
小樽市夜間急病センター	147844	2	北海道	小樽市	越前谷 勇人	—	2		○									

【北海道大学病院臨床研修修了要件】

臨床研修における到達目標

以下の A・B・C 各項目についての達成度を総合的に判定する。

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

1. 社会的使命と公衆衛生への寄与
2. 利他的な態度
3. 人間性の尊重
4. 自らを高める姿勢

B. 資質・能力

1. 医学・医療における倫理性
2. 医学知識と問題対応能力
3. 診療技能と患者ケア
4. コミュニケーション能力
5. チーム医療の実践
6. 医療の質と安全管理
7. 社会における医療の実践
8. 科学的探究
9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

C. 基本的診察業務

1. 一般外来診療
2. 病棟診療
3. 初期救急対応
4. 地域医療

必修分野

1. 内科 24 週以上（呼吸器内科、リウマチ・腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、脳神経内科）
2. 外科 4 週以上（消化器外科Ⅰ、消化器外科Ⅱ、心臓血管外科、呼吸器外科、泌尿器科、乳腺外科、脳神経外科）
3. 小児科 4 週以上
4. 産婦人科 4 週以上（妊娠・出産を経験すること）
5. 精神科 4 週以上（精神科専門外来または精神科リエゾンチームでの研修を含むこと）
6. 救急 12 週以上（麻酔科 4 週を含んでもよい）
7. 地域医療 4 週以上（2 年目に行う。一般外来研修と在宅医療を含むこと。病棟研修を行う場合は、慢性期・回復期病棟での研修を含めること。）
8. 一般外来 4 週以上（初診患者の診療及び慢性疾患の継続診療を含むこと）

必修項目

下記の必修項目を2年間で経験し、病歴要約を作成しEPOC2へ症例登録後、指導医の評価・承認を受けること。病歴要約には、「病歴、身体所見、検査所見、アセスメント、プラン（診断、治療、教育）、考察等を含む」こと。

経験すべき症候-29 症候-	経験すべき疾病・病態-26 疾病・病態-
外来または病棟において、次の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応を行う。	外来または病棟において、次の疾病・病態を有する患者の診察にあたる。
1. ショック	1. 脳血管障害
2. 体重減少・るい痩	2. 認知症
3. 発疹	3. 急性冠症候群
4. 黄疸	4. 心不全
5. 発熱	5. 大動脈瘤
6. もの忘れ	6. 高血圧
7. 頭痛	7. 肺癌
8. めまい	8. 肺炎
9. 意識障害・失神	9. 急性上気道炎
10. けいれん発作	10. 気管支喘息
11. 視力障害	11. 慢性閉塞性肺疾患（COPD）
12. 胸痛	12. 急性胃腸炎
13. 心停止	13. 胃癌
14. 呼吸困難	14. 消化性潰瘍
15. 吐血・喀血	15. 肝炎・肝硬変
16. 下血・血便	16. 胆石症
17. 嘔気・嘔吐	17. 大腸癌
18. 腹痛	18. 腎盂腎炎
19. 便通異常（下痢・便秘）	19. 尿路結石
20. 熱傷・外傷	20. 腎不全
21. 腰・背部痛	21. 高エネルギー外傷・骨折
22. 関節痛	22. 糖尿病
23. 運動麻痺・筋力低下	23. 脂質異常症
24. 排尿障害（尿失禁・排尿困難）	24. うつ病
25. 興奮・せん妄	25. 統合失調症
26. 抑うつ	26. 依存症（ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博）
27. 成長・発達の障害	※26 疾病・病態のうち、少なくとも1 症例は外科手術にいたった症例とし、病歴要約には手術要約を含めること
28. 妊娠・出産	
29. 終末期の症候	

下記の必修項目を2年間で経験し、EPOC2に自己評価を入力すること。

必須	経験すべき診察法・検査・手技等	
	研修期間全体を通じて経験し、形成的評価、総括的評価の際に習得度を評価する。	
1. 医療面接	⑪ドレーン・チューブ類の管理	
2. 身体診察	⑫胃管の挿入と管理	
3. 臨床推論	⑬局所麻酔法	
4. 臨床手技	⑭創部消毒とガーゼ交換	
①気道確保	⑮簡単な切開・排膿	
②人工呼吸（バッグ・バルブ・マスクによる徒手換気を含む。）	⑯皮膚縫合	
③胸骨圧迫	⑰軽度の外傷・熱傷の処置	
④圧迫止血法	⑱気管挿管	
⑤包帯法	⑲除細動	
⑥採血法（静脈血）	5. 検査手技	
（動脈血）	①血液型判定・交差適合試験	
⑦注射法（皮内）	②動脈血ガス分析（動脈採血を含む）	
（皮下）	③心電図の記録	
（筋肉）	④超音波検査	
（点滴）	6. 地域包括ケア・社会的視点	
（静脈確保）	7. 診療録	
（中心静脈確保）	①診療録	
⑧腰椎穿刺	②退院時要約（考察を含む）	
⑨穿刺法（胸腔）	③各種診断書の作成（死亡診断書を含む）	
（腹腔）		
⑩導尿法		

下記の内容について2年間で研修すること。

必須	その他の研修
	全研修期間を通じて、基本的な診察において必要な分野・領域等に関する研修を行う。
1. 感染対策（院内感染や性感染症等）：院内感染対策講習会への出席など	
2. 予防医療（予防接種を含む）：法定健診（検診）、総合健診、人間ドック、予防接種など	
3. 虐待への対応：BEAMS 虐待プログラムの受講、研修医セミナーなど	
4. 社会的復帰支援：長期入院患者の社会復帰支援計画の作成、外来通院時のフォローアップ、研修医セミナーなど	
5. 緩和ケア：緩和ケア研修会、研修医セミナーなど	
6. アドバンス・ケア・プランニング：ACP 講習会、研修医セミナーなど	
7. 臨床病理検討会（CPC）：剖検の立ち合い、教育型 CPC での症例提示など	
※レポートを作成し提出すること	

北海道大学病院における修了要件

項目	修了要件
オリエンテーション	すべての日程に出席すること
研修医セミナー	必修セミナーには必ず出席すること
特別企画セミナー	出席すること
医療安全・感染制御講演会	年2回受講すること
多職種合同研修会	年3回出席すること
センター面談	年2回面談を行うこと
医師臨床研修専門委員会	指定された回に出席すること
JAMEP (基本的臨床能力評価試験)	1年目に受験すること(希望すれば2年目に再受験も可能)
教育型CPC 発表者/レポート	2年間のうちに1回発表者となり発言・レポート提出をすること 年3回の教育型CPCに出席すること
症例レポート	内科・外科(手術症例)・小児科・産婦人科・精神科・救急分野の 症例レポートを各1症例(原本)提出すること
地域医療研修	ポートフォリオを提出すること
一般外来研修実施記録表	「一般外来研修実施記録表(厚紙)」に記入し、指導医の承認(サイン・押印)を受けること。また、同様の内容をEPOC2へ入力すること。20日分研修した際には、「実施記録表」(原本)を臨床研修センターへ提出すること。
EPOC2 評価入力 ・評価票Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ・指導医・上級医・診療科評価 ・研修医療機関評価 ・プログラム全体評価 など	ローテーション終了時に「研修医評価票Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」に到達目標に対する自己評価を入力し、指導医にも同様に評価を受けること。 その他の評価入力についても遅滞なく行うこと ※EPOC2の入力は、2年目の12月20日までに完了すること
研修修了発表会	1年目・2年目ともに出席すること 2年目に抄録・スライドを提出し発表すること

その他の修了要件

- ・2年間の研修中の休止日数が90日以下かつ正当な理由(傷病、妊娠、出産など)であること。
※休止日数が90日を超えている場合は、超過日数分以上の追加研修を行い、上記基準に準じて個別に修了判定を行います。
- ・一般常識を逸脱する、就業規則を遵守できない、チーム医療を乱すなど、医療の適切な遂行に支障を来す場合は、修了を認められない場合があります。

北海道大学病院における臨床研修医の医療行為に関する基準

北海道大学病院

平成 16 年 5 月 10 日制定

平成 21 年 5 月 27 日一部改定

平成 22 年 7 月 21 日一部改定

基準の運用上の留意点

1. 原則として研修医が行う、あらゆる医療行為には指導医の許可が必要である
2. 救急救命時にはこの限りではないが、可及的速やかに指導医に確認または立会いを依頼する
3. 北海道大学病院としての基準を各診療科で運用する際に、患者の状態により、レベルを上げることがあり得るが、下げることはしない

研修医の医療行為に関する基準

レベル 1：研修医が単独で行ってよい医療行為

- ・ 初回実施時は指導医の立会いのもとで実施する
- ・ 困難な状況があった場合は、指導医に相談する

レベル 2：指導医の許可を得た上で、単独で行ってよい医療行為

- ・ 研修期間の経過に伴う、研修医の技能の向上の判断(熟練度の評価)は症例経験数を踏まえ、指導医が能力評価を行った上で、研修医単独での施行を認める
- ・ 許可を与えるための、症例数や技術評価の基準は特に定めない
- ・ 同じ医療行為であっても患者個々に条件が異なる。同一患者における同一医療行為であっても患者の状態は一定ではないので、毎回許可を得てから実施する

レベル 3：指導医の立ち会いを必須とする医療行為

- ・ 2 年間の研修期間において、研修医単独での施行を認めない

	処 方	注 射	診察・その他
レベル 1	定期処方の継続 臨時処方の継続	皮内注射 皮下注射 筋肉注射 静脈注射 末梢点滴	医療面接 全身の視診、打診、触診 基本的な身体診察法：泌尿・生殖器の診察、小児を除く 直腸診 耳鏡、鼻鏡、検眼鏡による診察 インスリン自己注射指導 血糖値自己測定指導 診断書の複製 診療録の作成
レベル 2	定期処方の変更 新たな処方(定期・臨時等) 高カロリー輸液処方 酸素療法の処方 経腸栄養新規処方 危険性の高い薬剤の処方 (危険性の高い薬剤としてリスト化されている処方) <ul style="list-style-type: none"> ・向精神薬 ・抗悪性腫瘍剤 ・心血管作動薬 ・抗不整脈薬 ・抗凝固薬 ・インスリン 麻薬処方 ：法律により、麻薬施用者免許を受けている医師以外は麻薬を処方してはいけない	輸血 危険性の高い薬剤の注射 (危険性の高い薬剤としてリスト化されている注射) <ul style="list-style-type: none"> ・向精神薬 ・抗悪性腫瘍剤 ・心血管作動薬 ・抗不整脈薬 ・抗凝固薬 動脈内への薬剤投与 麻薬剤注射 ：法律により、麻薬施用者免許を受けている医師以外は麻薬を処方してはいけない	紹介状の作成 診断書の作成 治療食の指示
レベル 3		関節内注射	内診 死亡診断書の作成 重要な病状説明 インフォームドコンセントの取得

	検 査	処 置
レベル 1	<p>正常範囲の明確な検査の指示・判断 一般尿検査、便検査、血液型不適合試験、血液・生化学的検査、血液免疫血清学的検査、髄液検査、細菌学的検査・薬剤感受性検査など</p> <p>他部門依頼検査指示 心電図・ホルター心電図指示、単純 x 線検査指示、肺機能検査指示、脳波検査指示など</p> <p>超音波検査の実施 動脈圧測定、中心静脈圧測定 MMSE (Mini-Mental State Examination) 聴力、平衡、味覚、嗅覚、知覚検査、視野、視力検査、間接喉頭鏡 アレルギー検査(貼付)、長谷川式認知テスト</p>	静脈採血 皮膚消毒、包帯交換 外用薬貼付・塗布 気道内吸引、ネブライザー 気管カニューレ交換 局所浸潤麻酔 抜糸 ドレーン抜去 皮下の止血 包帯法
レベル 2	<p>検査結果の判読・判断 心電図・ホルター心電図判読、単純 x 線検査判読、肺機能検査判読、脳波判読、超音波検査判読など</p> <p>インフォームドコンセントの必要な検査指示 CT 検査・MRI 検査・核医学検査など</p> <p>筋電図、神経伝導速度、 内分泌負荷試験、運動負荷検査</p>	動脈血採血 創傷処置、軽度の外傷・熱傷の処置 導尿、浣腸 尿カテーテル挿入と管理—新生児・未熟児は除く 胃管挿入と管理 皮下の膿瘍切開・排膿 皮膚縫合 ドレーン・チューブ類の管理 動脈ライン留置 小児の静脈採血 人工呼吸器の管理 透析の管理 静脈留置針の穿刺、留置

	検 査	処 置
レベル3	以下の侵襲的検査 負荷心電図検査 負荷心エコー検査 直腸鏡検査、肛門鏡 消化管造影、脊髓造影など	以下の侵襲的処置 骨髄穿刺、胸腔穿刺、腹腔穿刺、腰椎穿刺など、髄腔内抗癌剤注入
	以下の危険性の高い侵襲的な検査 胸腔・腹腔鏡検査 気管支鏡、膀胱鏡 消化管内視鏡検査・治療 経食道エコー 肝生検、筋生検・神経生検 心・血管カテーテル検査	以下の危険性の高い侵襲的な処置・救急処置 <u>マスクとバッグによる用手的換気、エアウェイの使用(経口、経鼻)、ラリンジアルマスクの挿入、気管挿管、除細動、IABP (Intra Aortic Balloon Pumping), PCPS (Percutaneous Cardio Pulmonary Support) など</u>
	発達・知能・心理テストの解釈	中心静脈カテーテル挿入・留置 小児の動脈穿刺 針生検 脊髄麻酔 硬膜外麻酔 吸入麻酔 深部の止血 深部の膿瘍切開・排膿、深部の嚢胞切開・排膿、深部の嚢胞穿刺、深部の縫合

- ・レベル3のうち下線の行為については、救急救命のためただちに施行が必要とされる場合には研修医が単独で実施可能
- ・電子カルテの記載は、原則として48時間以内に指導医の承認が必要
- ・紹介状、診断書は、患者・家族に手渡す前に指導医のダブルサインが必要

ダブルサインとは：研修医と指導医の間で交わされる行為、記事記載について事後承認扱い。研修医が入力した「診察記事」、「電子コメント」に対してのみ指導医が事後承認を行う。

(参考)

カウンターサインとは：医学生と指導医の間で交わされる行為、診察記事について事前承認扱い。

北海道大学病院医師臨床研修管理委員会内規

平成 23 年 3 月 10 日
制 定

(設置)

第 1 条 北海道大学病院(以下「病院」という。)に、病院の医師臨床研修における研修プログラム(以下「研修プログラム」という。)が円滑に遂行されるよう管理するため、北海道大学病院医師臨床研修管理委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(協議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 研修プログラムの管理に関すること。
- (2) 研修医の管理に関すること。
- (3) 研修医の研修状況の評価に関すること。
- (4) その他医師臨床研修の管理に関すること。

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 病院長
 - (2) 臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門長
 - (3) 臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門副部門長
 - (4) 臨床研修センターに所属する教員
 - (5) 北海道大学病院規程第 5 条第 1 項に規定する診療科に所属する教員(国立大学法人北海道大学特任教員就業規則(平成 18 年海大達第 35 号)第 3 条第 2 号に該当する特任教員を含む。以下同じ。)及び第 6 条第 1 項に規定する中央診療施設等に所属する教員並びに北海道大学病院中央診療施設等内規第 2 条第 1 項に掲げる中央診療施設等に所属する教員のうちから病院長が指名する者
 - (6) 協力病院群を構成する関係施設の研修実施責任者
 - (7) 前号に規定する関係施設以外に所属する医師又は有識者 1 名
 - (8) 事務部長
 - (9) その他委員長が必要と認めた者
- 2 前項第 7 号及び第 9 号の委員は、病院長が指名する。
- 3 第 1 項第 5 号、第 7 号及び第 9 号の委員の任期は、1 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 第 1 項第 5 号から第 7 号まで又は第 9 号の委員が、旅行、疾病、事故その他やむを得ない事由によって委員会に出席できないときは、代理者を出席させることができる。
- 5 前項の代理者は、第 1 項第 5 号から第 7 号まで又は第 9 号の区分ごとに出選する。

(委員長及び委員会の開催)

第4条 委員会に委員長を置き、病院長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。
- 4 委員長は、委員会を年1回以上開催するものとする。

(議事)

第5条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ議事を開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 3 委員がやむを得ず出席できない場合には、予定される議事に対する意見を付した委任状の提出をもって、当該委員の出席に代えることができる。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(臨時会)

第7条 第2条の協議事項のうち緊急な対応が必要となった場合、臨時の委員会(以下「臨時会」という。)を開くことができる。

- 2 臨時会は次に掲げる者をもって組織する。
 - (1) 第3条第1号から第4号まで及び第8号に規定する者
 - (2) その他委員長が必要と認めた者
- 3 委員長は、審議終了後速やかに、委員会に報告を行うものとする。

(専門委員会)

第8条 委員会に、専門的事項を審議するため、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

- 2 専門委員会の委員長及び委員は、委員長が指名する。
- 3 専門委員会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、総務課において処理する。

(雑則)

第10条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成24年11月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この内規は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この内規は、平成 29 年 11 月 9 日から施行し、平成 29 年 10 月 1 日から適用する。

附 則

この内規は、令和 7 年 8 月 21 日から施行する。

北海道大学病院医師臨床研修専門委員会要項

平成 23 年 3 月 31 日
制 定

(趣旨)

第 1 条 この要項は、北海道大学病院医師臨床研修管理委員会内規(平成 23 年 3 月 10 日制定)第 7 条第 3 項の規定に基づき、北海道大学病院医師臨床研修専門委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 研修プログラムの管理に関する専門的な事項
- (2) 研修医の管理に関する専門的な事項
- (3) 研修医の研修状況の評価に関する専門的な事項
- (4) 研修医の募集及び採用試験に関する専門的な事項
- (5) その他医師臨床研修に関する専門的な事項

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 臨床研修センター医科卒後臨床研修部門長
- (2) 臨床研修センター医科卒後臨床研修部門副部門長
- (3) 臨床研修センターに所属する教員
- (4) 北海道大学病院医師臨床研修管理委員会内規第 3 条第 1 項第 5 号に規定する者
- (5) 患者安全推進部長が指名する者 1 名
- (6) その他委員長が必要と認めた者

2 前項第 6 号の委員は、臨床研修センター長が指名する。

3 第 1 項第 5 号及び第 6 号の委員の任期は、1 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 第 1 項第 4 号又は第 6 号の委員が、旅行、疾病、事故その他やむを得ない事由によって委員会に出席できないときは、代理者を出席させることができる。

5 前項の代理者は、第 1 項第 4 号又は第 6 号の区分ごとに選出する。

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

(議事)

第 5 条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ議事を開くことができない。ただし、第 3

条第4項に規定する代理者を出席させることができず、かつやむを得ない場合には、予定される議事に対する意見を付した委任状の提出をもって、当該委員の出席に代えることができる。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、総務課において処理する。

(雑則)

第8条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この要項は、平成23年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成23年10月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成25年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成29年11月15日から実施し、平成29年10月1日から適用する。

附 則

この要項は、令和7年8月1日から実施する。

附 則

この要項は、令和8年4月1日から実施する。

北海道大学病院臨床研修センター内規

平成 17 年 4 月 7 日

制 定

(趣旨)

第 1 条 この内規は、北海道大学病院規程（平成 15 年海大達第 48 号）第 19 条の規定に基づき、北海道大学病院臨床研修センター（以下「センター」という。）の組織及び業務について定めるものとする。

(組織)

第 2 条 センターに、次に掲げる職員を置く。

(1) センター長

(2) その他必要な職員 若干名

2 センターに、医科臨床研修部門、歯科臨床研修部門及び専門研修部門（以下「各部門」という。）を置く。

3 センター長は、病院長の命を受け、前項の各部門の業務を総括する。

4 センター長は、病院長が指名する。

(業務)

第 3 条 医科臨床研修部門及び歯科臨床研修部門は、次に掲げる業務を行う。

(1) 研修医の募集に関すること。

(2) 研修医の受入れ及び研修コースの振り分けに関すること。

(3) 研修プログラムの立案に関すること。

(4) 研修の実施依頼に関すること。

(5) 研修の評価のとりまとめに関すること。

(6) 各診療科及び研修関連病院との連絡調整に関すること。

(7) その他臨床研修に係る業務に関すること。

2 前項に掲げる業務のうち、医科臨床研修部門においては、研修医（医科）に関する業務をつかさどる。

3 第 1 項に掲げる業務のうち、歯科臨床研修部門においては、研修医（歯科）に関する業務をつかさどる。

4 専門研修部門は、次に掲げる業務を行う。

(1) 専攻医の募集に関すること。

(2) 専攻医の受入れに関すること。

(3) 専門研修プログラムに関すること。

(4) 医師の生涯教育に関すること。

(5) その他専門研修に係る業務に関すること。

(医科臨床研修部門)

第4条 第2条第2項の医科臨床研修部門に部門長を置き、病院長が指名する医学研究院の教授をもって充てる。

- 2 前項の部門長は、センター長の命を受け、医科臨床研修部門の業務を統括する。
- 3 医科臨床研修部門に副部門長を置き、部門長が指名する。
- 4 前項の副部門長は、第1項の部門長を助ける。
- 5 医科臨床研修部門に部門長が必要と認めた職員を置くことができる。

(歯科臨床研修部門)

第5条 第2条第2項の歯科臨床研修部門に部門長を置き、病院長が指名する歯学研究院の教授をもって充てる。

- 2 前項の部門長は、センター長の命を受け、歯科臨床研修部門の業務を統括する。
- 3 歯科臨床研修部門に副部門長を置き、部門長が指名する。
- 4 前項の副部門長は、第1項の部門長を助ける。
- 5 歯科臨床研修部門に部門長が必要と認めた職員を置くことができる。

(専門研修部門)

第6条 第2条第2項の専門研修部門に部門長を置き、病院長が指名する医学研究院の教授をもって充てる。

- 2 前項の部門長は、センター長の命を受け、専門研修部門の業務を統括する。
- 3 専門研修部門に副部門長を置き、部門長が指名する。
- 4 前項の副部門長は、第1項の部門長を助ける。
- 5 専門研修部門に部門長が必要と認めた職員を置くことができる。

(雑則)

第7条 この内規に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

- 1 この内規は、平成17年4月7日から施行し、平成17年4月1日から適用する。
- 2 北海道大学病院卒後臨床研修センター内規（平成15年9月17日制定）は、廃止する。

附 則

この内規は、平成17年6月23日から施行し、平成17年6月2日から適用する。

附 則

この内規は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この内規は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この内規は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

IC ICカード（主要箇所のみ掲載）



(連絡先)北海道大学病院臨床研修センター（事務室）
 住所：〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目
 TEL：011-706-7045 FAX：011-706-7051
 メールアドレス：sotsugo@med.hokudai.ac.jp